

平成19年度

京都大学学生生活白書（別冊）
（自由記述編）

平成19年度 学生生活実態調査委員会

京都大学学生部

自由記述

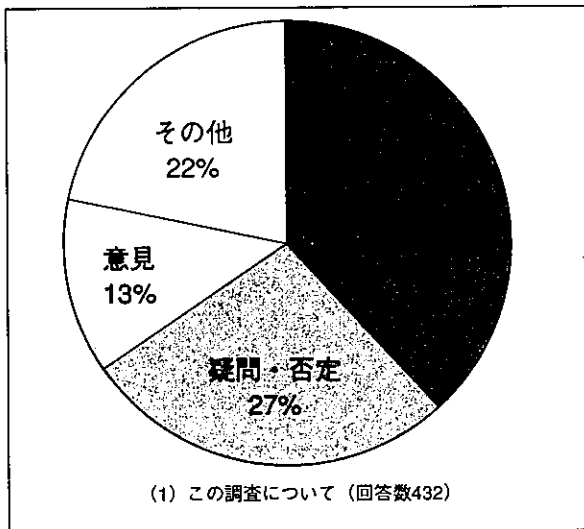
はじめに

調査の最後に(1)この調査について(2)教育体制について(3)大学の施設・設備について(4)大学生生活全般について、の4項目を自由記述という形式で質問しました。(1)については全体をグラフにまとめましたが、(2)～(4)については基本的に原文のまま掲載しました。ただし(2)～(4)のそれぞれの質問項目に対する記述で内容の共通するものは別途項目をつくりまとめています。1つの記述で複数の内容について(例えば図書館・メディアセンター・生協等の利用時間について)言及しているもので、文章が切り離せないものは各項目に重複して掲載されている場合があります。また、制度に対する質問等については回答を京都大学のホームページ上の大学生生活実態調査の項に順次掲載していく予定です。

目次

(1) この調査について	2
(2) 教育体制について	
苦言・要望	2
その他	12
(3) 大学の施設・設備について	15
(4) 大学生生活全般について	20
(5) 各項目	
生協・食堂・購買など	27
図書館	28
学内工事	30
トイレ・洗面	32
メディアセンター・ネット環境	33
課外活動(クラブ・サークル)	33
課外施設(一般)	34
宇治・桂・隔地キャンパス	35
自転車・駐輪・学内交通	37
教務窓口・連絡掲示	38
授業料・奨学金	39

(1) この調査について



「この調査の結果を生かして改善に役立てることを期待する」など、調査の意義について一定の評価をしている記述が4割に対し、「面倒だ」、「声が活かされるとは思えない」などの否定的評価も3割近くになっており、大学側の姿勢への厳しい評価もありました。また、「この設問はこうした方がよいのでは」、「全員に実施すべきだ」などの意見も多数見られました。

すぐに全ての面で改善できるわけではないこと、全ての要望に応えられるわけではないこと（例えば単位認定の厳しさや校舎の建て替え問題でも人によって意見が異なる）など、様々な要素はありますが、けして調査しただけで意見が汲み上げられることがない、というわけではありません。白書の概要の方でも述べていますが、図書館の開館時間の延長など本調査での要望を受けて改善に動いている例も少なくありません。今後とも調査への協力と、忌憚ない意見をいただくようお願いいたします。

(2) 教育体制について

※苦言・要望が多かったので、それ以外と2つに大別しました

□苦言・要望

- 先生方から学部生に対して教育をしようという態度を非常に感じ取りづらい。1・2年生だから、学部生だから、卒業だから……。院進学をしないという進路が選択しにくくなっています。動機のあるなしに関わらず、院進学をしないと損だと思ってしまう。
- 教育学部で大学での高等教育を真剣に研究しては、スポ実はあるが芸術実技がないのはなぜ？入学試験の国語は工学部でも必要。語学や理系の微積・線系は必修にしても良いが、工学部などはもっと選択できる授業を増やした方がよい。出席をとる授業はなくすべき。

- 教育費が少しぐらい上がっても構わないので、海外との必修交流をして欲しい。
- 教職の資格を取るのに一般教養の科目と教育学部の科目が重なって翌年以降に受講が先延ばしになってしまう。何とかしてほしい。
- 高校からの進学時に何の研究をどの学部学科が行っているか分かりにくかった。また、その分けがあいまいで強い意思がないと選びにくい。今でも思うが、もう少し情報公開と、学科編成をきっちりして欲しい。
- 充実していると思うが、1・2年生と3・4年生では授業密度やその負担の大きさが全然違う。特に2回・3回間のギャップが非常に大きく、専門科目を2年生割り当てに移行し、もう少し3年生時の負担を少なくてもいいと思う。
- 大学が研究機関なのか教育機関なのかという論点があるかと思えます。研究されている方が授業も上手にできるとは限らないと思います。その先生に合った授業スタイル（例えば、通常の学期中でも積極的に外部にクラスごと出かける、など）を組み立てるのを奨めるのがよいのではないのでしょうか。
- 科目選択により自由がきくようになれば嬉しいです。
- 昔のような学生が自主的に勉強をしていたり、独学で分かる人が多かった時代は終わっている。どんどんと言われなければやらない、言われたことのみする、言われたことすらできない、と学生の質は落ちているので、それに合わせて、うまく高校→大学の違いと流れに乗れるような指導が必要だと思う。
- つまらない授業しかできない先生は、学生が来なくなるのを恐れて出席をとる。しかし、つまらない授業こそサボるべきであり、つまらない授業によって学生を拘束し、時間を奪うのは罪だと思う。レポート・筆記試験の採点をもっと難しくても構わないから、出席をとる授業をもっと減らして欲しい。
- 全共科目において、工夫がなされるのはよいことで、漸次的に改善されていけば良いものではありませんが、現時点でレジュメが親切すぎたり、視覚的メディアを多く取り入れた授業は成功しているとは言い難いと感じます。出席重視の上、与えられるものが多すぎると、学業への主体的取り組みが相対的に低くなります。また語学に関しては、教員により内容が異なり、レベルが低すぎたり、ライティングの時間なのに違うことを授業内容としていたりと個別的すぎると思います。もう少し統一的な基本方針、内容規定が必要だと感じます。1年生の語学は教員を選べ（原文ママ）
- 今のままでいいと思う。ただもう少し授業での説明を細かくしてもらいたい。
- セメスター制では、十分な認識を得る前に終わってしまうので通年にしてほしい。
- 総合人間学部を何とかした方がよい。「専修」の分類などが恣意的ではないか。結局、各々の「教員」で選んでいる

人が多い。

- もう少し、学生が勉学に意欲をもてるように、大学側も頑張るべきだと思う。
- 特に学部科目は、科目名が分かりにくい。科目名と授業内容が直接つながったものであるべきだと思う。
- 自分自身が学部の方針に適しているのかとも心配。教員やカリキュラムを理解している教務の人と相談する機会が欲しい。
- 入試が難しいのに対して入学後が自由すぎるので、せっかく京大に入ったのに馬鹿になっていく人がいるのは、京大にとっても、その人にとっても、もったいないと思う。強制するには反対だが、戒めの言葉がざりげなくある雰囲気になってほしい。
- 総人だけなのかもしれないですが、教員アドバイザー制は帯に短したすきに長しで中途半端でした。
- 「やる気を引き出す」きっかけが多くなればよいなと思いました。
- 学生側の問題かもしれないが、研究室に近寄り難い雰囲気がある。もっとフランクに話せる場が研究室ごとにあったらいいと思う。
- 単位を捨てられるようにして欲しい。米の大学ではこの制度があるので、米国の大学院に入学するときに彼等と比べて不利になる。
- 自由放任もそこそこに。
- 他大学と比べ、教員の生徒に対する面倒見がよくないと思う。
- 教授が実際にどのような授業を行っているのかをチェックする仕組みや、教授同士の教授法勉強会があると教育機関としてのクオリティは上がるのでは？今のままでも別に良いのですが。
- 放任なのはいいのだが、相談出来る体制も整えて欲しい。
- 火曜日に授業が集中。金に少ない気がします。かぶつてうまく時間割が組めないことが。
- 先生の指導は熱心とは言えないことは確か。大学とはそういうものだと言われれば、それまでですが。
- 教育学部の理系入試で数学の教職を取ろうとした場合、学部で推奨されている数学基礎A B及び情報学。I, IIが教職の単位としては認められず、内容の重複する微分・積分・線型代数、基礎情報処理を再度履修しなければならないが、単位として認定するか、事前に情報として伝えて貰えば助かります。数学や英語や外国語などの基礎の部分は、大学でテキストを作り、指導のプロを育成して指導した方が効率良く学習でき、生産性が上がると思います。
- 回生ごとに一般教養と専門科目を分けるのではなく、くさび型に、どちらも取り入れることができる制度は素晴らしいものだと思います。1回生のうちにもう少し専門科目がとれると尚良いと思いました。
- 学生が求める講義の内容と、教員が好き勝手にやりたい内

容とにギャップがある場合も多い気がします。評価制度の整備が必要。

- 例えば、全学共通等、履修が確定していない段階でのレポート提出、出席確認の問題など解決して欲しい。
- 仕方ないが、カリキュラムが行き当たりばったりで決まるので、予定が立てにくかった。授業が少ない。1・2回生時に内容が重なっている授業がいくつかあったので考えて欲しい。
- 一般教養で他学部の授業が色々受講できることが良いと思います。しかし、編入生の外国語予備登録は、学部と共通教育科がきっちりと連携をとり、スムーズに行えるようにして下さい。
- 他大学に編入した人の話に比べ、教員が非常に気難しく、学生としてかなり気を遣わないと指導をまともにしてくれない方が一部いらっしゃいます。研究や学会でお忙しいのは分かりますが、「学生に教える」「学生を萎縮させない」という意識を全ての先生方に持っていただけたらありがたいです。
- 教授（保健学科）がカリキュラムなどをきちんと理解していないようなので、学生に無理な日程で様々な要求をしてくるので迷惑です。もっと学生が行動しやすい環境づくりを京都大学に求めます。
- 英語Ⅱを履修する際の事前登録の仕方。抽選に前期も後期も落ちて履修したいものを履修出来なかった。
- まず、先生によって教える気の有無が大きすぎると思う。もう少し改善の余地があると思う。また、全学共通科目ではクラスという立派なシステムがあるので、学部にもそのシステムを取り入れると、学生にとっては便利だと思う。
- 専門授業の時間割が分散しすぎていて、私は自宅生であるので通学時間ばかりかさみ、大変非効率的である。やりたいこと、やるべきことがたくさんあるので、授業を組む際に多少考慮していただきたい。
- 保健学科はまだ出来て3年の学科で、教育カリキュラムがメチャクチャである。先生や教授も短大からそのまま上がってきていて、充実した教育が受けられている気がしない。学科の方針もまだまとまってないように感じられる。
- 勝手に怒り出す先生があり得ない。(水曜2限)
- 専門科目も取りたい人が取れるようにして欲しい。
- 院生のコピー枚数制限は廃止して欲しい。2000枚/年では何も出来ないし、他大学や研究科では制限がないと聞いている。
- 留学体制の充実がもう少しあってもよいかと思う。(学部生の)
- 一般教養の履修・必要数のシステムは自由性に富んで実に京大らしいと考えます。ただし、その自由度が授業内容の空洞化を導いていることは否めません。単位の取得の難易度は変えず、より自然に知識を増やすことのできる内容・形態が目指せられればと思います。

- 教授のやる気がいまいち感じられない。お話や講義を聞いてもらうという工夫が足りない気がする。楽勝科目なんて作らないで、もっと話を聞いてみたくなるような講義が増えるといいと思う。
- なるべく放任主義に戻した方がいいと思います。京大の最大の魅力ですから。
- 教授がもっと生徒に近寄るべきです。
- 3回生は実習が忙しすぎて課題をこなすのが難しいので、1回生や2回生にも少し実習時間を振り分けるべきだと思う。
- 今で良いと思います。1回生のポケゼミはやりがいがあるので、もっと受講可能な人数を増やしても良いのではないのでしょうか？学生は自ら学ぶべきなので（できているかわかりませんが）より自由に受講科目を選べたら良いのではないのでしょうか。でも、内容が偏ってしまう恐れがありますね。あと4回生でも全学共通を受講したいですが、研究室に行っていると無理です。
- 僕は薬学部なのですが、1回生の間に専門科目がほとんどないというのはかなり欠陥だと思います。施設など日本での最先端に近いものを誇っているものが存在しているので、もっと早いうちから実験などをしていくべきだと思います。
- 学生の声を取り入れ、授業担当教員の人事を考慮して欲しい。
- 教員間での授業情報の交換→円滑な授業進行。3回生でのカリキュラムが重い→1回生から専門科目スタートさせてほしいです。科学英語（薬学）の教員人事の再考→より充実した英語教育へ
- 各学年でうまくバランスがとれるように、カリキュラムがもう少し何とかうまく組めればいい。
- 薬学部の3・4回生では、じっくりと勉強するための時間がとれない。2回生である程度しっかりした体制を整えて、3・4回生でもっと余裕のあるカリキュラムにして欲しい。授業も評価（教員評価）の制度が必要。教育（講義）の内容が分かりにくい、伝わっていないというものが多。
- いくら京大とはいえ、もう少し「薬剤師国家試験合格」を重視してもよいのではないか。選択科目に国試対策講義があってもよいと思う。
- 教官が授業に遅れないようにして欲しい。授業の開始時間と終了時間を守って欲しい。
- 教職科目の教室の狭さをどうにかして欲しい。立ち見の学生が多すぎる。
- 大学院（博士）にいたので、全体的な体制は分からない。ただ、整っていないと感じる。あいまい。ばらばら。
- ノーベル賞を受賞する研究者を排出する教育を志向して下さい。
- ずさんな管理体制だと思いますが、こんな状況だからこそ、学部生とは違い、自主性を問われているのだと思います。
- 自ら学び成長する大学院とはそんなところだと思っていますが、せめて各専攻毎で構わないので、教育者側の理念、目標は統一していただかないと、学生としては混乱するしかありません。
- 院生対象の講義がほぼオムニバス形式で、他の講義と内容が被る事があったり、事務側との連絡不届で、講義が数回に渡り休講になる等、不備が目立つ。院生対象の講義は1部オムニバス形式で内容が概論的なものでも良いと思うが、専門分野の講義を増やし、研究内容に特化した論文抄読等を行ってはどうか。
- やる気出して下さい。
- 私は大学院から京都大学の方に来たので、学部生の授業はどのようになっているのか分からないが、もう少し授業に力を入れたいのと思うことがある。今の授業に不満があるわけではないが、もう少し数を増やしたらいいのと思う。
- 厳しくなりすぎている。全く意味がない。
- 研究室間で格差がある（社会的にも経済的にも）。就職のサポート体制が悪すぎる。
- バンキョーと専門、学問と研究の連携が必要と思われる。
- 学部の枠を超えて他の分野の教授の話聞ける機会がもっと欲しい。せっかく有名・優秀な教授がいるので。アナウンスをもっとして欲しい。
- 情報学は学際的な分野なので、もっと他研究科との連携を強め、様々な学問や知識を学べるようフレキシブルなカリキュラムにして欲しい。
- あまり教育を受けている感じはしない。
- 「ゆとり」世代突入ということもあって、非常に難しいところですが、私大のように生徒を甘やかすのはあまり良いことではないし、私大のマネをしても多分あんまり意味はないと思います。自由な「京大らしい」教育体制を。
- 教員を学生が評価し、その評価が直接社会的地位や次年度の予算に影響を及ぼすシステムを構築する必要があります。さもなければ修士の学生はただの研究テクニシャンに終わってしまうと思います。
- 一般教養科目の意義が正直な所、よく分かりませんでした（学部生時）。
- 学部時代の話だが、教員に教育の熱意が感じられなかった。
- 薬学部なので、6年制について気になる。もう既に今年の2回生以下の学年はそうなっているが、6年制の学生についても4年制の学生についても教育体制の不準備さは想像がつく。準備は急ピッチで進められていることと思うが、大変そうだと思う。
- 研究室配属は4年からではなく、もっと早くして欲しかった。1〜3年は暇すぎた。
- 法学部のキャップ制は非常に問題のある制度だと思う。大

- 学で自分が学びたいことを学べるという大学の本来の役割が果たせていない。もしキャップ制を維持するなら、演習の単位を増やしたり、卒論の導入など、もっと学生が自分から積極的に学べる機会を増やすべきだと思う。
- キャップ制で試験に不可となった場合、負担が大きいので、救済措置（追試etc）を設けてほしいです。
 - やはり、京大だけあって教授陣は秀逸で、講義は非常にためになる。ただ法学部のキャップ制が納得いかない。
 - 気軽に相談できるような人が居た方が良いのでは??
 - 研究室の教授によるイジメやセクハラがひどいと先輩から聞いている。なぜ改善されないのか？法学部の単位認定はロースクール志望者に焦点を合わせすぎ、下級生に厳しく上階生に甘い採点は不公平。
 - 基本的に放任主義なので、今は問題ないが、3回生になった時に頼りになるかが心配。CAP制はやめて欲しい。
 - 学部に関する情報は全て学部の掲示板で見なければならない。大学院への進学を考えているが、その情報が学部サイドからはほとんど与えられないという点が少し不満です。世話をして欲しいとは言わないが、もう少し情報開示を充実させて欲しい。
 - 授業内容について分からない時に質問する機会がありません（15分の休みでは）。
 - 法学部にキャップ制があるのは進路の定まっていない学生にとって酷だと思う。法学系、政治学系、経済学系の科目をどの分野でもとろうとするときつい。2回生のうちはキャップ制を外してはどうだろうか。
 - 全学共通科目では面白そうな授業が数多く提供されているが、毎年同じ時間に開講されている事が多く、上回生になっても受講できないのが残念です。（特に2・3限は専門科目と被るので）
 - 法学部の履修制度、いわゆる「キャップ制」には、強い不満がある。ただちに廃止すべき。
 - キャップ制により、勉強したくとも勉強が出来ない。大学生活前半に勉学をおろそかにしないように作られた制度であろうが、大学4年をどのように過ごすかは自己責任で良い。より勉強したい者を制約するような制度を学費を徴収している大学が行うべきではないと思われる。
 - 授業の専門性が低すぎる。もっと高度な内容のものにしてほしい。研究室配属ももっと早くても良いと思う。
 - 農学部を卒業して、農学研究科に進んだのですが、学部生の時の研究室配属を3回生からにしてもよいのではと思いました。学部生で就職する人もいるのにせっかく大学まで来て研究期間が1年だけとは余りにも短いのではないのでしょうか。
 - 教員のやる気が感じられない。教育者としてなっていないと思うことが多い。
 - 自由すぎると思う。もう少し学部生に勉強させる環境を用意した方がいい。
 - 教育と研究が分業されていないので、授業が下手な先生が多い。きっちり分けるべきでは？先生は研究で忙しいのでテストも適当になりがち。
 - 院生の立場として一番気になるのは、研究室によって学生の待遇がかなり異なる点。資金の潤沢なところでは、学会参加時の交通費や参考書の購入が補助されるが、不足しているところでは自分で払わなければならない。また、英会話教室の授業料が補助されるという話も大変うらやましい。このまま差が広がったら、研究内容でなく経済状況で研究室を選ぶ学生が多くなり、大学が大学らしくなくなると思う。せめて、修士以下の学生の生活の格差をなくするような仕組みを作って欲しい。
 - 2回生時が暇すぎます。修士課程に関してはまずそれに満足しています。
 - 知識だけでなく、「考える力」を身に付けさせる講義が必要だと思います。
 - （学部）教職をとろうとしたが、教職取得向けの授業がない（例えば理科で物理が必要だが、初学者にも関わらず物理で大学受験した人向けの難しい授業しかないし、教職に役立つとは思えなかった）
 - 大学院の授業を充実させた方がいい。
 - 大学院の教育には満足している。学部の講義はもっと学生のレベル・要望にあわせてほしいとよく感じた。
 - 語学を学べる環境をもう少し整えていただきたいです。
 - 資格、取得用講座などの授業を作っていただくと、さらに勉強・意欲が出るのではないかと思います。
 - 農学部の研究室配属は3回生後期からにしてほしい。就職するか、進学するか、或いはどの大学院・研究室に進学するかを判断するには、4回生になってからの配属では遅すぎる。
 - 「大学院生のための教育実践講座」百周年ホールのようなイベントをもっと多くして欲しい!! 大学院レベルでの英語教育の拡充!!現状は放置状態!!
 - もっと熱心にして欲しい。
 - 求める人には与えるという方針はよいと思いますが、もう少し「道しるべ」を学生に提示していても良いとも思います。
 - ゆるすぎる。大学生活での学力（志気）の低下が顕著
 - 同じ額の授業料を払っているのに研究室によって待遇が違いすぎるのが納得いかない。例えば、ある研究室では学会参加のときに参加費、旅費、宿泊費、お小遣いまで出るので、別の研究室は何も出ないなど。お金を気にして学会に出られないと研究にも影響があると思うので、統一してほしいと思う。
 - 「天才を生む自由な学風」が「怠惰な学生や教員を生む学風」に成り下がってはいけな。成果主義ではない京大らしい厳しさ（独創性に対する厳しさ）で研究現場に喝を入れる必要がある。

- セミナー・研究室に入る際に、専門基礎の部分にばらつきが年度・担当教官について大きいと感じる所があり、この2つの部分をうめる教育・制度・課程を3回～M1のどこかに設けてほしいです。
- 特に学部では先のが分かるような授業をして欲しいと思う。教育体制には不満はない。
- 社会的に変えるべきだと言われていても、学生側の問題であって、大学側としては変えるべきでないこともしばしばあると思いますので、そのあたりの見極めを誤らないでいただきたい。
- 教育しているとは思えない。
- 自由な校風は魅力だが、もう少し学生に対して厳しくした方が、双方のためにも良いのでは。大学院における教授の権限がとて大きすぎるように感じる…。学生を奴隷のように思っている人が多い気がする。教育というよりは。
- 高校から大学、大学学部の1・2年（一般教養）から3・4年（専門的な授業）の変わり目で何をこれまで学んできて、何を学んでいないかを教員の方々にしっかり把握して授業をやって欲しい。自分の経験では、多くのことを授業以外で勉強する必要があった。
- 特に意見は無いと思う。理学部はかなり特異だったと思う。地学だろうが、物理だろうが、等しく単位としてカウントされる制度は少し変なのではと思う。極論、量子力学も電磁気学もやらずに“物理”で卒業できてしまうのだから。あと、語学が全て揃わないと系登録できないのは辛いと思う。
- もう少し必須の単位を増やした方が良い。
- 院生向けの英語対策を行って欲しい。
- 学部生のころは、単位認定などが甘く、学生の自主性に任せている部分が多いと感じ、教育体制には疑問を持っていましたが、修士・博士課程で研究室配属になると、研究設備も充実していて、良い環境であると感じています。
- 教育体制としての不満はないが、入学してすぐにも様々な研究室の人々や施設に直に触れられる機会をもっと増やして欲しい。
- 良くも悪くも放任主義だと思う。周りに留年生がたくさんいる。それが「京大らしさ」でもあるし、勉強する人は放っとしても勉強するので、今のままでいいと思う。就職活動のサポートはもっとして欲しい。
- 大学院の教育体制を変えて欲しい。いくら京大院は“研究”機関だとはいえ、これではまともな研究者は育たない。
- 教育能力又は情熱の無い教官が多いのは高等教育機関としてどうかと思う。学生に自由を与えるというのが教官の言い訳のように聞こえる。
- 多少、放任すぎるところがある。
- 自分は学部時代に交換留学制度を利用して、米国のカリフォルニア大学バークレー校へ一年留学するチャンスを得た。学生の頭の良さは京大の方が上だが、大学の教育はバークレーが数段で、卒業時の総合的な学力、能力

は先の方が遙かに上と感じた。京大の伝統と呼ばれる「放任、自由」に教員も学生もあぐらをかいている。確かに放任も大事だが、教育の仕方も色々あると思う。少なくとも基礎をみっちり丁寧に教育すべき。近年、パンキョーでは出席をよくとったり、テストを厳しくしたりするよう、高等教育センターは指導しているという話を聞くが、そんな方法で学生の質が高くなると思っているのだろうか？基礎をみっちり教え込む、クリアな授業をしていけば、学生は自ずと集まってくるし、レベルは上がってゆくとする。米国礼賛は大嫌いだ、少なくとも大学教育システムはあちらの方に学ぶべきものは多いと思う。もし、京大の更なる発展を求めるなら、海外の大学の徹底的なリサーチを試みてはどうか。

- 理学部の系登録制度は問題があると思います。もっと学生の意見を聞いて改善して欲しいです。自由の学風は守って欲しいです。
- 研究室による教官の指導力の差、或いは予算の貧富の差が激しすぎる。また、学生数もあまりに偏りすぎている。公正さだけではなく、格差も是正して欲しい。また、教育に消極的な教官は処罰も含めて何らかの対策をとってほしい。
- 自由を重んじるよい学風であるが、もう少し上の1%の学生以外のことも考えた方が良くと思いました。単位認定が一年生時に甘すぎるから、なめられると思います。そして、もう少し授業の内容を充実させてほしい。学科の授業全てをとっても研究できる水準まで学力があがりません。
- 授業等の魅力はかなり低いと思う。学生の学力も低いと思う。学生側、大学側双方に問題があると思うが、是非大学側に積極的な対策を取ってほしいと思う。授業はもっと専門性を養い、学生に専門に対する自覚を持たせるようなものになって欲しい。
- 博士課程進学の学生に対する処遇が低い。博士進学は就職できず、経済的な問題が大きい。その結果、学問を目指す魅力がなくなり、安易な就職が増える。理系進学への魅力がなくなってきていることも気になる。目先の利益にとらわれて、すぐに結果が出ないことには着手しない、モノを作り出す人への対価が低くなれば、日本は衰退するのではないだろうか、そんな不安を感じる。
- 基本的にとても良く教育してもらっている。しかし、まれに、ほとんどやる気のない教官がいたりするので、その点の改善を希望する。
- エネ科の学際的養成プログラムのコア科目は、あまり役に立たないように感じる。
- 教員と学生が関わる機会を増やして欲しい。
- 授業にやる気のない教官が多すぎる。教授の指導放棄的行為も目立つ。
- 大学院の質をもっと上げるべきだと感じます。(授業内容、学生。特に入試が易しすぎると感じます)。入るのも簡単で、中身のない大学院では、あまり意味がないと思います

し、優秀な学生も集まらないと思います。

- 遊んでばかりの学生でも、いわゆる楽勝科目で単位を集めて卒業できる。そんな連中に学士の学位を与えて良いのか？また、国費留学生として博士課程などに入る外国人には、能力的に問題のある者も多い。そうした学生が高額の奨学金を給付される一方、優秀な日本人学生がアルバイトをしたり、貸与の奨学金（要するに借金）で負債を作っている。何かおかしくはないか？
- 教師・学生共に素晴らしいものを持っていると思います。一つ、残念なことは、その素晴らしいものをもっと共有できればいいのではと思います。その共有の場を設けることをお願いしたいです。
- 我々のような生命科学に従事する大学院生にとって、日々の実験に追われ、バイトをする時間がありません。奨学金を取ればいいと思われませんが、借金であることには変わりません。我々が出していく実験データは大学にとって財産になるものと考えられます。もう少し生命科学系の大学院生に経済的なサポートを下さいますようお願い致します。
- インターネットで授業を受けられたらいいと思う。（東北大で行われているようなもの）
- 今後も発展して、院生の経済的な難しさをサポートできる研究費の体制を強化して欲しい。
- 教官数が不足している。教育にまで手が回っていない。
- 全くだめ。
- 単位認定のためだけの講義はいらないと思う。
- 若い研究者の優遇。ポストドク問題への対策。助教の増員。教員の会議、書類作成時間の減少（ディスカッション時間の増加）。
- アカハラ対策を充実させていただきたいと思います。アカハラに対する明確な規定と罰則が必要だと思います。アカハラの相談窓口もあって欲しいものです。
- 授業の客観的評価が教員への教育指導方法の研修を義務付けて欲しい。博士課程も含めた学生への就職サポートを拡充して欲しい。
- 優秀な教授もたくさんいらっしゃると思いますが、いわゆる「政治家」の割合が多いように思います（学部は東大でした）。
- 良いと思います。出来るならもっと教員内での連携を上手く取り、学生がより快適に勉学・研究の出来る環境を目指して欲しいです。
- 教育体制は科目に対して専門性があり、学びやすいカリキュラムが多いと思う。専門性の学習の場に加え、自分の専門以外の分野の研究も学ぶ機会が増えれば、更に幅広い考え方を身に付けられると思う。
- 研究は個人プレーになりがちだが、個人のやる気を出させるような教育体制であればと思う。特に、不登校ぎみの学生に対して何もフォローなどがなく、せっかくの人材をもったいなく、無為に時間を過ごさせている場合があるよう

に思う。

- 専門課程の講義について、専門の教員が居る科目だけでなく、必要な課目は学外などからも講師を招いて、講義すべき。また、シラバスの内容や各種セミナーのお知らせをウェブから一括閲覧出来るようなシステムの構築を願う。
- あえていえば、自由というより、ゆるいだけ。
- 学生の就職支援に力を入れるべき。（どういった人材を世に排出していきたいのかよく分からない）今後の人生をどう生きるかというキャリアパスを描かせるクラスが1回生からあって良いと思う。それと共に大学院生（修士・博士）にもそういったクラスがあった方がよい。博士学生の就職支援を。
- 各教室毎に温度差があるように思います。不透明感が多いように思います。
- ゆるいと思う。外国の学生が勉強しにくそう。
- 教育は良いかもしれないが、研究指導などは手抜きしても分からないため、もっと実態を把握して欲しい。あと、センターのように辺境にある施設に対するフォローが足りない。
- 教員の評価制度を作って欲しい。
- 大学院の教育システムには問題がある。もっと厳しくして欲しい。
- 理学部や工学部とは異なる。いわゆるつぶしが利かない分野の研究をしている学生に対して、もっと就職に対するサポートをして欲しい。就職先がなく非常に厳しい。
- 結構放任。
- おむね良い。あまり「企業的」にならないで欲しい。古くさいかもしれないが「学」「知」の可能性や誇りを大切にしたい。エリート層が自分達を守るためのシステムを再生産、助長するための「部品」にならない教育を貫徹して欲しい。
- 教授・准教授共にいない研究室。引越に伴う研究の妨げ、引越作業のただ働き。このような目に遭っている学生は授業料を払う必要があるのでしょうか？返せとは言わないので、せめて謝罪すべきです。
- 学生数に対して教官が不足しているように思う。独法化で枠が厳しくなった印象。
- 論文を書いているのか、きちんと指導しているのか、教員がちゃんと働いているのか、外部からもわかるような評価の仕方を情報の公開を希望します。
- 教官が少なく負担が大きい。
- 実用性の高い英語教育が学部生時代に受けられると、将来、非常に有益だと思います。特に、論文の作成や外国人とのコミュニケーション等の場面で…。
- 他大学から博士課程で入学したのですが、京都大学はドクターコースの学生が多く、在る意味教員より学生教育の戦力になっていると思います。ドクターの就職活動が行いやすくなれば、ドクターの学生がさらに増えるかもしれません。

- 大学院進学後も基礎学力を見につけられるようなカリキュラムがあると良い。(大学院は、独学で勉強しなくてはならないので、基礎学力を身につけたい時に(特に専門分野)限界があるのではないかと。英会話をもっと学べるシステムはないのか?)
- 大学院教育はほとんど研究室に丸投げされているので、大学、研究科全体としての取り組みを充実させてほしい。特に、総合大学の利点を生かして直接関係のない部局、研究所間の学生が交流、議論出来る場があると良い。
- 意味のない授業が多い(不必要な単位数)、そのため研究・実験に集中出来ない。教える側、教えられる側のモチベーションが共に非常に低い。
- 学部の頃の一般教養はあまり役立っていない気がする。
- 学会聴講(発表なし)にも交通費を出して欲しい。
- 研究室の改変や他学から教授を招聘する際は、教員や学生間の関係も考慮して行ってほしい。言い過ぎかもしれないが、椅子が空いているから埋めるといような発想ならやらない方がましである。研究室配属についてだが、発表が遅すぎる。桂キャンパスの研究室がどうか分からないうちに引越しなければならぬのはおかしい。せめて2月中には結果を教えて欲しい。
- 一人よがりな自己満足な授業をしている先生もおられるので、学生の目線に立ち、興味を持てる授業が出来るよう努力して欲しい。学生が教員を評価する制度を導入しても良いのではないかと。
- 法人化してから色々とうるさくなったように思う。個性的な先生が多く、独自のスタイルで自由に講義をされるのが魅力であったが、「最近では～しないといけなくてねえ」と言われながら講義をされているのが残念であると思った。
- 先生に応じて教育内容に差があり、カリキュラムの内容を記述した冊子も科目間の関係がいまいち明確でないため、自ら進んで勉強するにしても障害がある。もう少しカリキュラムを整理して、学生の自主性を重んじて勉強がやりやすくなる仕組みがあつてよいと思う。アメリカの大学では、HWや課題は大量であるが、そのための図書館のサポートがあるなど、カリキュラムの品質を重視した機構がある。
- 研究室によって学会などにかかる金が出たり、出なかったりするの是不公平であり、一律に管理すべきである。そういった問題に関する窓口を設けるべきである。
- カリキュラムで留学に無理矢理行かせるようにしてはどうか?
- 本学の教育体制は、日本でも有数のひどさだと思う。もっと教職員が現代の流れを汲んで工夫すべき。一日でも早く改善される事を望みます。
- 院の講義が研究の邪魔。講義が長い。隔年開講は困る。M2に講義行ってる暇はないので。集中講義が学会とよく重複するので考えて欲しい。成績評価が不明瞭かつ不公平。
- シラバスをしっかり作って欲しい。
- もっと教育について真剣に考えなければならないと思う。「自由な学風」だから、学生は勝手に勉強しろというのは、教員の単なる逃げだと思ふ。京大に限らず、国全体(文科省)も含めて、高等教育はどうあるべきかについて考えなければいけない時がきていると思う。
- 意欲のない人を簡単に卒業させてしまっているように思ふます。外部からの受け入れが安易?に感じます。もう少し厳しくあつてしかなるべきです。
- 学部時代と現在の大学院も含めて、特に不満はない。
- 系統だった講義と、教官による差のない講義にして欲しい。
- 機械理工学専攻の前期授業に制御・数値計算の分野が多かった。別のジャンルも増やして欲しい。
- 学部の時は良かったが、大学院では研究室単位での労働の量の差が大きすぎる。もちろん、違いがあるものだとは思ふが、教授の先生達には一応把握しておいてもらいたいと思ふ時がある。TA等収入にも差があるし、奨学金の配分の仕方不明。
- 「自由な学風」を守ることを事務方の人々も意識しなければならぬと思う。→つまり、守られてないと思ふわけです。
- 学会やセミナーの交通費、宿泊費などは立て代え制になっているが、振り込まれるまでの時間が掛かりすぎである(1.5~2ヶ月)。立て代え制ではなく、初めから払って欲しい。
- (細かい話ですが)時間割の組み方が偏りすぎて、選択の余地を狭められている(金曜日に集中しすぎて、月~火は極めて講義が少ない)。専門職大学院であることを考えれば、もっと厳しく学生に対応しても良いのではないのでしょうか(履修状況、評価など)。
- 大学院の授業については文句はありません。ただ、学部の授業については、若干問題があるように思ふます。評価の基準の公開など、学生がもう少し主体的に取り組めるような情報開示は必要だと思ふます。
- 大学は教育を行うことが一つの重要な使命だから、教員同志で教育方法について評価し合い、高めあつて欲しい(特に大学院)。
- 講義の名称と実際の授業内容が必ずしも一致していないことがあるので、名称を内容に即したものに變更して、学生に分かりやすいようにして欲しい。
- 大学院生も教養科目を履修(聴講)しやすくして欲しい。入学時の案内日程がタイトであり、システムをよく理解できなかったため、教育免許など資格関連の科目履修にも支障が出そうになった。
- 大学(一般)が研究機関→教育機関に変わりつつあるようだが、京大は研究機関であつて欲しい。
- 大学院での講義をもっと増やし、充実させた方が良い。
- 院生になると、授業を受け、単位を取ることは、研究の妨

- げとしか思えない。その研究分野に関する一般知識・教養を教える授業がほとんどなく、あまりにも専門特化している授業が多く、正直、研究の役に立ちにくい。
- 大学院での教育しか経験していないが、「自由な学風」とらわれすぎて、自由放任が行きすぎている感を時々感じてしまう。自由は長所であると同時に、その名前を借りた責任放棄とも理解できるので、バランスをとって欲しい。
 - 自分のいる研究科だけかもしれないが、教員が学生をきっちり指導するということがなされていないように思える。
 - 深く勉強させすぎで就職対策がしっかり出来ない。
 - 大学当局が中心となって、研究成果を世に問う機会がもっとあって良いと思います。私の見たところでは、それぞれの学部・研究室の横のつながりが、非常に乏しく、大学が保有する人的資源を充分に生かしてきていないようです。
 - 個人的には、これくらいゆったりして欲しくて助かる。授業やら教師の勝手なバックアップやらで、自分の自由な勉強時間を減らして欲しくない。ただ、以前、在籍していた大学と比べると、京大は人数が少ないせいもあって、学部間・学科間を簡単に行き来できない雰囲気がある。
 - 法科大学院では、各期20単位の履修上限があるが、通年科目は後期単位としてカウントされてしまうため、自然と後期の履修可能枠が減ってしまい、バランス良く受講することができない。時間割で重複するなどの理由から受講できない科目もある。履修上限（登録上限）や時間割をもう少し工夫して欲しい。
 - 京都大学法科大学院の特に未修者の新司法試験合格率の低さに将来が不安でたまりません。授業時間不足は分かりますが、それは法科大学院設置時から分かっていた筈のことなので、もっと効果の凝縮された授業、もしくはカリキュラム改善を、切に要望します。また、テストの返却を下さい。
 - 京大に入学したのは、大学院からなのですが、非常にレベルが高く、教授陣も優秀で頼りになります。教授には、もう少し学生の方を向いてもらえると（補習や相談に乗って頂けると）更に嬉しいです。
 - 自由を尊重して頂けるのは有難いのですが、それを口実にただずさんなだけの面があるのは改善して頂きたいです。
 - 法科大学院未修クラスに所属しているが、課題の量をこなすのに手いっぱいになり、復習に手をまわす時間を作れていない。学生の負担を教員相互で想定していただいているのだろうか。又、予習を前提とする授業もある事にかまけて、授業が無意味になっている科目すらある。今回の新司法試験の結果（特に我々未修者の結果）を受けて、大変不安に思っている。
 - 研究科のための教育体制としての問題点は特に感じないが、院生の参加姿勢は不満に思うことがある。せっかくの学びの「場」が有効に活用されていない。
 - 「学びたい事を好きなだけ」が京大の良い所だと思うが、最近では、必修単位の認定が厳しくておもしろくないです。必修と選択必修が多すぎるのではないかと思います。
 - 大学教育は単なる職業教育だけではない。社会人としての教育も教員や職員も心掛けて欲しい。教員や職員の不祥事はもってのほかである。又、学内での規則の明確化とその徹底をして欲しい。例えば、キャンパス内でのくわえたばこ禁止、バイクの走行禁止。
 - 卒業要件があいまいで分からない。
 - 先生という立場が、大学ではそれまでと違うため、理解しにくいので、先生はこうあるべきであるという手本を教えて欲しい。
 - 教育制度への競争原理の導入には確かに利点もあろうが、目先の成績・業績を上げることに囚われ、中長期的な視野を持った学習・研究が生まれ難い傾向が強まりつつある様に感じられる。
 - 近年、様々な制度的締め付けが増える傾向にあるが、京大は自由に学問に向き合える体制を大事にして欲しい。あと、オーバードクターの処遇を改善して欲しい。
 - 社会貢献型。教育を重視するのも需要だが、真にアカデミックな教育が出来ることが重要。
 - カリキュラム、内容はさすが天下の京大であったと思います。ただ、それについていけなかった時のサポートが薄すぎたと感じます。ドロップアウトしてしまった人も、本当は立ち直りたいと思っているのに、先生方に簡単に見放されることが多く（先生からしたら、サボル生徒は不愉快でしょうか）余計に立ち直れません。そこは、分かって欲しい。
 - 詳しく説明してはあるが、それでも卒業単位認定については分かりがたい。
 - 中高の授業体制や内容を踏まえていないために、解りにくい授業がけっこうありました。A群の般教とか、必修にさせていただきたくないです。限られた時間を不必要に圧迫するだけです。（同学科の他の系志望の人と交わる機会があるのはいい）又、一回時の（必修ではないにしても）クラス指定が多すぎます。クラス指定は、クラスの人に会う良い機会ですが、多いので結構苦しかったです。逆に2回時は時間にゆとりが出てきます。出席・欠席をとることで評価をつける科目はなくしていただきたいです。
 - （理系なので）もっと問題演習の機会と質問出来る機会が多ければいいと思う。問題集解いてて分からない点があった場合、誰に質問すればいいのか分からず、ほったらかしになってしまいがち。
 - 理学部のカリキュラムは、3回前期に3つ理論演習がある。3回後期に「量子力学2」と「量子力学特論」が同時期に開講されている（特論は量子力学2の次の期にあるべきではないのか？）など、少々問題があると思います。解析力学1を1回生の後期にやる量子力学1を2回生の後期にやるか、等で改善できるならして欲しいです。

- きっちりして欲しい。
- 理学部のC群での必要単位数が多すぎる。
- 語学科目として認定される単位数を増やして欲しい。
- 前の方がいい。
- 専門教育に関しては、少人数のゼミなどで厳しくして欲しい。
- 授業時間で何かを得られるとは思えないから、学生が自ら学ぶように興味を持てるようになる授業にして欲しい。
- 1回生の前期の時間割を組む際、相談出来る機会をもっと作ってもらえたら嬉しかったなあって思います。どうすればいいかとかってやっぱわかんないんで…。担任がいるんだったら、個別に時間とかってほしいと思います。
- 昔みたいに単位認定を甘くして欲しい。今は厳しすぎる。これでは文武両道なんて不可能だ。
- 単位認定を甘くして欲しい。少なくとも分かる授業とテストをして欲しい。
- 教員の講義での指導は自己満足に陥っていることが非常に多い。また成績評価に関しても妥当性を欠くものがある(例えば、カンニング行為をしても見つからずに、量が多い答案を書けば「優」となる講義もある)。加えて、経済学部において異議申立が出来ないのは非常に大きな問題点である。
- 高校までの学習内容と、大学の学習内容とのギャップがあるので(例えば数学)、そのようなギャップを埋められるようなカリキュラムを作って欲しい。
- まずKUINEPでの授業改革が早急に必要。問題点は二つ。日本人にとって全く勉強となる科目があまりにも少ない。二つ目は留学生にとって簡単過ぎる授業となっている。他大学からの教師などを呼ぶなどして、授業の活性化が確実に必須だ。
- 学生を増やす方向から転換してください。人多すぎです。教授がみんな研究費とるのが大変といいます。必要なフォローはして下さい。教職免許をとりやすくして下さい。システムが分かりづらい、単位も。
- 編入生の前大学での単位認定がきつい。他大学のように60単位前後を認めて欲しい。
- 教師の教える意欲がない。適当すぎる。
- 特に一般教養科目に多かったように感じますが、シラバスに書いてあったことと、実際授業で先生がおっしゃることが食い違っているという事態は、避けていただきたいです。授業内容ならともかく、登録方法であるとか、分属・専修と科目選択の関係等において、そういうことがあると困ります。事務的な部分は学生を管理しようとするなら統一してもらいたいです。
- 教員免許をもう少し取りやすくして欲しい。教育学部以外の人間が免許をとろうとすると、専門との兼ね合いもあって、結構負担が…。
- 経済学部でのカンニングがあまりにも多すぎる。
- 1・2回生の頃に学部専門がとれるようにして欲しい。進路決定の手掛かりが全くない。
- 教職科目の単位を取っても文学部生にとっては卒業に必要な単位ではないので、無駄になる。教育学部の単位でも文学部の単位に互換出来るようにして欲しい。
- 自由の学風の伝統を守り抜いて欲しい。上から押しつけられる基準・評価を気にするばかりでは大学はつまらなくなる一方だと思う。知の魑魅魍魎の発生地、生息地であるために独自路線を貫くべきだ。
- 私が所属する専攻で、卒論のサポートが殆どなく不安です。ゼミというものがなくて、特定の先生の下につけないと、上下のつながりも希薄で相談できる人がいません。
- 授業をどのように組んでゆくべきかなどの指導があった方が良い。
- 転部や留学しやすい状態にして欲しい。
- 英語のリスニングスピーキングの授業(一般教養の)で、英語を話せる・聞けるようになったという話を聞かれません。私の一回生の時の授業は、教師は何もせず、生徒同士を90分雑談(英語で)させて終了というものでした。リスニング・スピーキングの方は何とかならないでしょうか。
- 講義の連絡や主なカリキュラム等、学生への連絡がうまく効率的に行われていないように思う。特に文学部の生徒は所属のクラスやクラス担任がはっきりせず、勉強に関する悩みや進路の相談をしたくてもできない宙ぶらりのような状態におかれていてすごく困っている。
- 単位認定がいい加減すぎる。
- 文学部で1回生からもっと色々専門科目をとれるようにしてほしい。3回生になっていきなり専門科目が増えて最初少し戸惑った。
- 私は「〇〇が学びたい!!!」という志がなく入学したものですから、授業は当然つまらなく、改善して欲しいのですが、やる気のある方にとっては満足するものさそうなので、何も言いません…。
- 語学などの単位を落とした場合、翌年以降のリスクが大きいので、何らかの救済措置が欲しい。
- 自分は文学部だが、1回生の時はとれる専門科目がほとんどなく、正直言ってつまらなかった。全学共通科目は語学以外はあまり必要ないと思う(教員も学生もモチベーションが低く、意志、大教室、大人数での授業はあまり面白く感じないので)。
- 京都大学の特権は、浮世離れしている点にあると思います。現在の資格や実学の方面に目を向け、タイトに出席で生徒を縛った時点で、この大学の存在価値は無くなるのではないのでしょうか。実学優先のパイの奪い合いに他大学に追従するように参加せずに、化石地帯を買い取ってユニークな人間を生み続けて下さい!!
- 比較的楽に単位がとれてしまうのが良いのか悪いのかは分

からないが、文学部に限って言えば、もう少し早くから専門科目の履修が出来るようにして欲しい。意欲に満ちている入学時に全学共通の授業だけでは、急にやる気がなくなったり、勉強をしない風潮が出てくるのも、仕方ないと思う。せっかく、定員数の少ない大学なのだから、授業選択の幅を早い段階から確保して欲しい。

- 教育の姿勢に問題のある先生がいます。遅刻、無駄のある、若しくは無理のある授業展開など。『こっちは好きで教えてる訳じゃない。』とも、おっしゃいました。そんなことは思っても言うべきではないと思うのですが…。
- 講義の担当者が年度ごとに違うと、過去からその講義で伝えたい内容を捉えづらいため、出来るだけ同じ人で通して欲しい。
- 自学自習を「助ける」体制が出来ていないのに（崩れたのか）自由の学風とはおもしろい。
- 電気電子工学科の3回生後期配当の“実習B”で、実験項目を自分で選択できるようになれば、非常に嬉しい。
- 教員による難易の違いが大きい。
- 相対的に授業に難易度の差がありすぎるのではと思われる。単位の取りやすい科目、取りにくい科目なども分かりやすく書いた方が、A群はいいと思われる。専門やD群はそのままでもいいと思うが、B群の数学・物理系に関しては、もう少し分かりやすくしたり、きちんと問題を解かせて理解させる必要があると思われる。テストだけ点を取ればそれでいいというのは間違っている。
- 工学部のB群科目が必要最低限のもの以外とれないのはおかしいと思う。もっと「生物学基礎」だの「地学」だの「相対性理論」だの、専門ではなくても理系として知っておきたい科目も（例えば別にB群等に分けるなどして）一通り履修するようにすべきだと思う。
- 気軽に休んだり出来る雰囲気なのはよく無い気がします。
- 3回生に実験などが集中して忙しすぎるように思うので、もう少し前倒しをして2回生と3回生に分けるなど、カリキュラムを見直しても良いのではないかと思います。
- 大学での教育は、このようなものなのかもしれないが、今までに学んだ学問は自分の興味を満たすには十分なものであるが、実社会においてどれほど役に立つものなのか目に見えず、不安になる。
- 「自由の学風」と言われているが、もっと学部を越えた勉強を評価してくれるような仕組みづくりをして欲しい。単位認定についてもあいまいであるし、他学部の講義を受けることは勧められた行為ではないような雰囲気が多少あるような気がする。
- 最後の授業でいつもアンケートをしているが、あまり役に立っていない（教授がそもそも授業に力を入れる気がないのに…）。他大学より自由で制約が少ないのが好きで入ったので、それは重視して欲しい。
- 理系の場合、1・2回での物理学実験、化学実験など、何

ら専門知識のない中で行う実験で、もし向いていないと思っても、3回の後期からはもう就活が始まる。これに合わせて就活をしたとしても本来の研究は実験とは異なるものであり（あくまで想像だが）自分が本当にどちらに行くべきなのか、納得のいく決断ができない（就活or院の決断）。

- 学生に教育をするという意識が低い。学生の質の高さに任せすぎではないか。
- もっと高いテクニックを持って教えて欲しい。そのために研究活動を併用して、片手間で授業をしている教授ではなく、授業専門の非常勤講師を呼ぶべきだ。
- 教師の求めるものが分かりにくい。伝える人と伝えない人がいて困る。
- 工学部ではB群の生物に関する科目がほとんど設定されないのが現状だ。生物系科目が工学部専門科目にあまり結びつかないことが理由だと思うが、専門以外の幅広い知識を学ぶことが大切はずだ。卒業に必要な単位数を若干増やしてでも単位に認定される講義の種類、数を増やして欲しい。
- 京大とはいえ、授業内容が高度すぎるのではないかとすることがある。教員の方々にも伝えたいことや最低限知っておいて欲しいと思うことがある。ということは出来るが、学生の理解度や意欲を把握しつつ、授業内容や形式を改善して欲しい。
- 生徒からの評価の低い、分かりにくい授業をする教員を何とかして欲しい。
- 演習を増やすべき。大学生はテストが終わると馬鹿になる。つまり、知識の定着が悪い。それは演習をしていない（特に、同じ事を繰り返すことは重要）。
- 興味を持ちにくい。この授業をどう役立てるかビジョンが見えにくい。これはB群や専門科目に顕著と思う。
- 京大らしさをもっと残していてもいいと思う。
- 追試を受けやすくして下さい。他大は事情によって受けられるらしいんですけど、京大は融通が利かない。授業を受ける気がしなくなる。
- 工学部の教職希望者への目が厳しい。一般教養も取りにくい。地学とか。
- 工学部は大学院進学が普通と、学校側が思いすぎている。3回生向けに早期の就職説明会、及びその伝達などのサポートを向上させて欲しいと強く感じた。
- 2回生の時に午前中にしか講義がなかったのが、3回生になってから実験と専門科目で時間的余裕が無くなりました。専門の科目をバランス良くしていただけると良かったです。
- 落として再履修してみるとよく分かるのですが、同じ科目のはずなのに、教官が変わっていると全く違うことをやっている場合があります。特に全学共通科目は差が大きい。もう少し統一させて下さい。
- 教授の意識にばらつき。

- 1~3回生の放任(?)教育には賛否両論がある。が、監視されない中で勉強を自分の興味だけで続けるのは、勉強に対する自分の姿勢を確認する良い機会になる。4回では教員から密な指導が受けられて得るものが多い。また、カリキュラム上の都合で難しいかもしれないが、1回生の間のやる気のあるうちに専門科目がほとんどないのは、勉強に対する意欲を減退させる。
- 教員の教える能力に差がありすぎる。
- 授業がゆるいと思います。授業に来ない人も多いのもっと強制的にした方がいいと思います。自由な時間がたくさんできるのは嬉しいのですが、授業が少ないとだらけてしまいます。
- 建築学科の教授は京都大学に籍は入っているものの、質問をしにいっても京都大学外での活動で忙しいのか留守が多いです。
- もっと学生の立場に立って欲しいです。狭い教室に生徒を詰めすぎ。
- 理数系授業において、授業内容に高校時代とは大きなギャップがあって、理解に苦しんだことが多々あった。教官の説明にも飛躍がありすぎて、困ったことがあった。
- 自分勝手な学生が増えているように感じるので、大学としての教育の本質とは違ってくるかもしれないが、素行の指導も必要ではないかと思う。
- カリキュラムの設定がおかしい。コースに分かれてからの負担が半端でない。
- 分かりにくいので、スライドの授業をやめて欲しいです。
- 今のカリキュラムはゆるすぎると思います。自律的に学習をしていける学生はともかく、与えられないとやる気にならない学生(自分含め)のために、もっと厳しいカリキュラムを組んで欲しかったです。
- 教員同士の交流をして欲しいと思います。例えば、リレー講義でよくあるのが、内容がかぶっていたりする、研究自体も同分野はもちろん、他分野での交流があれば、より視野も広く、革新的な発見がなされていくのではないかと思います。
- 工学部のカリキュラムをもっと考えて欲しい。2回生のような午前中だけ授業が毎日あるというような組み方は改善して欲しいと思った。
- 授業内容は良いと思うが、自由な校風と聞いたら講義に縛られていると思うし、教授の話聞いても昔の方が自由であったような印象を受ける。このままただのカたい教育機関になってしまうのならば、校風は失われてしまい、個性のない大学になってしまうのではないか?
- 工化は授業を選択する幅が狭かったように思う。
- もう少し時間割について調整して欲しい。上回生担当の専門科目が取れないので困っている。
- 留年者数の増加が気になります。何か対策をとるべき。高専編入生への単位認定増加を希望します。
- 数学・物理系の一般教養科目では、学生の理解度を考慮して講義の内容や進度を決めて欲しい。レポートはもっと量を多くしたり、深く考えさせるような難度の高い問題を出した方が良いと思う。
- 単位が簡単にとれすぎる(身についた気がしない)。
- もう少し自習を強制するように厳しくあってもいいと思います。
- アンケートで「分かりにくい」など不評だった教員は変更して欲しい。学生の立場になって考えて欲しいです。クラス指定によってクラスの平均点が変わり、特定のクラスがコース選択で不利になることを無くして欲しい。
- 教員に質問する時間がほぼ無い(休憩時間の15分ほど、移動の時間もあるのでさらに短い)。
- 春・夏休暇が長すぎる。
- 興味のわく授業をしてくれる先生が少なすぎる。特にB群に関してはクラス指定になっているため、自分に合った講義が取れなくて残念です。出来れば、クラス指定を無くして欲しいです。
- 英語の授業が「生徒の訳→先生の訳」の形式しか存在しないのはいかかなものか。これでは高校の英語の授業と代わり映えしない。いくら語学が慣れを必要とするとはいえ、もう少し「学ぶ」ことに重点をおいた授業を望む。
- 大学に入る前と後では、世の中に対する自分の見方・考え方・興味・価値観が劇的に変化するので、入学前に学部学科を決められて、そのカリキュラムに当てはめられるには苦しい部分がある。大学1・2回生では自由に学び、3・4回生で専攻する分野を決め、もっと専門性を高める場所として大学院があるというようになることが望ましい。
- カリキュラムに問題はないが、教員がもっと学生に厳しくなくてはならないと思う。
- コンピュータを使う授業が少ない。
- A群科目とB群科目のレベル差が激しい(理系とはいえ、B群科目の授業が高度にもかかわらず試験においては両者の難易度に差が感じられず、授業の内容だけが不必要に先行している)。
- 難しい内容で理解できずに、どんどん進む授業がある。もっと分かりやすく教えて欲しい。
- どこが重要なかが分からない講義が多い。
- 私の所属する工学部地球工学科では、1年前期にクラス指定の実験科目と、必修の学部科目とで、毎週レポートを課される授業が2つもあり、大学生活に不慣れな身としてはかなり負担になった。精神的にも授業数的にも余裕のない1年前期にあまり課題を多くしないで欲しかった。
- 授業をする先生によって、こちらの勉強に対する力の入り方も変わってくるので、熱意をもって、伝えようとして授業をして欲しいです。
- できれば3回生のうちから研究に関わっていきたくかったです。

□その他

- 良いと思う。
- 生徒の意欲を重視した教育体制は京大らしくよいと思います。
- 自由だ。よい。
- 基本的に放任で良いのではないかと、京大ですし。
- 勉強したい者には門戸の開かれた大学であり、多くのチャンスが得られる。
- ゆるぽ
- このままでよい。
- 私の学部では進路ややりたいことが定まったら系統だった勉強をするため、他の学部に移った方がいいという場合が多々あります。今年度、配布された進路別の授業設計見本などは、学生にとって親切な取り組みだと思いました。(総人)
- 「学問を教える」という点ではそれほど問題ないと思う。興味のある内容なら多少説明がわかりにくくても突っ込んで質問するのが自然だと考えるから。大学では、大切なことは一般教養の内容そのものではなく、ちょっとした雑談からわかる教授の考え方や、ゼミなどで他の人々と議論して見えてくるものだと思うので。
- もう少し教授との距離が近くなりたい。
- 20年前に学生だった頃と比べ、大学が教育に力を入れるようになったと実感しています。良いことだと思います。
- 複数の先生方のご意見を得られる指導体制のため、大変有難く思っております。
- 自由な校風が良いと思う。
- 自分の学部については割と満足しています。
- 学年が上がるにつれて、だんだんと内容がわかるようになった。
- 他大学では、一年に取ることができる単位数が定められていますが、京都大学にはその制限が無く、自分の思うままに講義を決められるので、その点が良いと思います。
- 京都大学の教育システム(全学共通教育など)について深く知ったのは、もちろん入学後ですが、他学部の学生と幅広く交流する機会を得ることが出来るという点で、有意義な教育体制であると思います。
- 東大の薬学部みたいに陸上運動会や水上運動会などがあると、もっと楽しくなると思う。
- いいんじゃないですか?
- とてもいいです。
- 充実しています。不満はありません。
- 満足している。
- レベルの高い講義をしてくださり、勉強に対する意欲が湧いた。
- 教育体制は非常に素晴らしいですが、僕の勉強に対する体制はひどいです。
- 先生方が素晴らしい!しかし素晴らしすぎて、自分がつい

ていけないこともあります。その先生方に必死についていこうと努力することによって自分の成績も上がる気がします。

- 自由な学風というだけあって、勉強したくない人は勉強しなくても卒業できる現在の状況を今後も続けてもらいたい。
- 大いに時間があって専門分野以外も主体性さえあれば素晴らしい教育体制だと思う。一方で、受け身な姿勢では何も身につかないと思う。
- 特に問題はないと思います。
- 大学院の授業のみの体験ですが、内容は教えて下さる先生によって大きく異なるので、一概にこうとは言えません。掲示板を通して告示されるシンポジウムなどは、京都議定書も身近な地域であるためか、環境問題についてのものが多く、参加すると自分が普段そこまで至らなかった考えなどを聴くことができ、考えさせられています。
- やる人はやる。やらない人はやらない。
- よい。
- 私自身、自由にやらせてもらっているので不満に感じることはありません。
- 他の学部等はわかりませんが、私の所属しているところはとてもいいです。入学してよかったと思えます。
- 自分で勉強しようと思えばいくらでも勉強ができる体制が整っていると思います。現状のままで問題ないと思います。
- 大学院しか在籍していないので、あまり詳しいことは判りませんが、評判通り自由な大学でした。入学当初はあまりにも放任すぎて、かなり途方に暮れました。
- 特に不満はない。
- 今まで通りで良いと思います。
- やる気が出ない。
- 学生の自主性を重んじている点は有難く思いますが、最近では自由は減ってきているとも感じます。尤も、自由すぎるのも問題だとは思いますが。
- 満足してます。
- 教授によって異なると思いますが、学風である「自由」がとてもいいと思います。
- 他研究科については詳しく知りませんが、生命科学研究科は充実していると思います。
- 普通
- 勉強したい人は自らすると思うので、自由な京大のままであって欲しい。
- 最近、生命科学研究科において、博士課程の教育に力を入れていると感じている。最終的には個人の自由ではあるが、研究(実験)以外にも若き研究者の話や英語の授業など、様々なセミナーや講義を受けるチャンスがあることは良いことだと思う。まだ試行錯誤の段階なのかもしれないが、大学院教育に色々工夫をしてくれようとする試みは嬉しいと感じる。

- 医学研究科については、毎年改良が加えられていて良いと思います。
- 何故なのかという筋の通った質問や発言に、皆さん聞く耳を持っておられるので、学んでいく自分を向上させていくに大変良い環境と機会を与えられており、満足しています。
- よく整っている。
- 良
- 今のままで良いと思う。自由な学風を維持してもらいたい。
- 教育に信念のある先生は自由にやりたいだろうし、そうでない先生は体制を示してあげないとロクな授業をしないと思う。どちらも「よい授業」ができるのが一番望ましいのだろうが、それを区別する方法は、あまり具体的に思いつかない。
- 教官・先輩からの指導が手厚く、多くのことを学べます。京都大学に入学して良かったと思います。
- 特に不満はない。
- 今のままでいいと思います。
- このままで特に問題ないと思います。
- 満足している。
- しっかりとした研究室に入っていることもあり、問題ないと思うし満足している。少し忙しすぎるが。
- 特に問題は感じない。
- すごく自由でいいと思う。この雰囲気はずっと保たれますように。
- 大学院は授業が少なく、研究に時間を多く費やせるのは大変良いことだと思います。
- 満足しております。
- 学部時代に在籍していた所に比べると、何だか何をやるにおいても敷居が高い気がする。
- 今のままで良いかと思えます。
- 教育の体制だ。
- 法科大学院のカリキュラム等で不満に思ったことはないし、大方の教授・準教授の方々も非常に教育熱心でよいと思う。
- 概ね満足しています。
- 自由な学生を広く認めていて良いと思う。
- 大学院在籍者のうち、学外出身者にとっては“自由”な京大の教育体制を“放任”だと捉える傾向があり、研究生活で苦労しているように思われる。かといって、手とり足とりの指導は必要ない。自己管理が出来ない者にとっては過酷な教育体制かもしれない。
- 良くわかりません。
- 私がいる研究室では先生も熱心かつ優しく、問題はありませぬ。何かあるとすれば、学生側の根性の問題でしょう。
- 私の所属研究科（文学）に関しては、国内外のトップクラスの教授の指導を身近に受けることができ、不備を感じたことは一度もない。
- 自学自習が尊重されるのは素晴らしい。ただ、大学院進学者を増やした結果なのか、必ずしも自学自習に秀でていない人もいる。そのような人は京大を進学先に決める前にもっと考えるべきだったのであろうが。
- この雰囲気はこのまま残して欲しい。京大の良いところだから。
- 世間で言われている通り自由な校風のある大学であるからだろうか、教育体制は低回生の間はととてもゆるい。しかし、それにより様々な活動へ積極的に参加出来、良いことだと思う。
- 特に要望はない。全学共通科目で色々な分野の授業を受け、自分の考え方が結構変わった。
- 恵まれた単位取得の容易さに日々感謝しております。
- 科目数が多く、充実していて、自分の興味にあった学問が幅広く出来るので、素晴らしいと思う。
- 悪くないです。
- おおかた不満はありませんが、私の学科は3年次から専攻が始まるので、少し物足りなく感じました。
- 現状維持で。
- 自由だと思います。
- 問題ないと思います。
- このままで問題はないと思う。
- 現状で構わない。
- 自分の将来の理想像、というのをはっきり個人で決めて、それに準じて自分なりのカリキュラムを組んでいけるようになることが理想だと思う。
- 京都大学特有でいいことであるとは思いますが、自由すぎるのも良し悪しだと思う。
- 今のままで良いと思う。
- このままで問題はないと思う。OK.
- 京都大学は一般教養の科目が多彩で、自分が面白いと思えるものがたくさんあった。また、工学部でも履修できる語学の選択肢が多いのは良いと思う。
- 京大には自由な学風ということで、色々な人がいます。大学で何をやるかは個人の自由だと思うので、比較的自由度の高い京大の教育体制は気に入っています。
- 何の教育体制について？この調査に関する教育体制？
- 自由で良い。あまり手取り足取りで教育するのは、結局のところ考える力を伸ばせない。どの大学もきめ細やかな教育をしたがるが、少くくは放ったらかしの教育「来る者拒まず、去る者追わず」な教育があっても良いと思う。
- 充実している。
- 良くも悪くも放任主義だと感じています。
- あまり変えないでいいと思う。
- もっと特異なことをして欲しい。
- 満足。
- 良いと思う。
- 多分あまりかわらない。

- 全学共通科目、いわゆる一般教養科目の在り方。卒業要件だから登録はするが、単位さえとればよいという人が大半である。単位を取得するために、少しは勉強するだろうという考えは間違いであり、はっきり言って全く勉強しない。勉強する意思のない人間がなんとなく大学に来ているというのがこの大学でも実情だと思う。
- 教授との距離が遠い。

(3) 大学の施設・設備について

- 十分。
- 現在、農学部に所属しているのですが、研究室が宇治と本部に分かれており、不便を感じています。
- 空き教室や学生自習室の施設時間制限はもう少し緩めて欲しい。防犯上の理由というのも理解できるし、24時間フルオープンを望むわけではないが、休日も利用できるよくなったり、22時頃まで使えると有難い。
- 夜間や休日などに施設や設備を利用できる時間を拡大して欲しいです。
- 寝転がって眠れるような部屋が欲しいです。
- 改善のしようもないとは思いますが、吉田南キャンパス内の4共の大講義室やLL教室はイスが座りにくいです。新しい1号館の講義室も机の面積が小さく、前列との距離が近すぎます。履修人数に応じた部屋の配当を望みます。ピンマイクはあまり音を拾えていないので、手持ちのワイヤレスマイクの方がよいと思います。(雑音は大きく入ります。共311、312など)
- いいと思う。
- 施設といいですか、喫煙スペースについてですが、喫煙スペースを設けるなら設けるで徹底的にやってもらいたい。
- すごくよい。
- ガッ
- 吉田キャンパスに人が溢れすぎる。
- きれいになって良かったと思います。
- 充実していると思います。
- 施設・設備はかなり整っていると思う。
- 他大学に行ってみると、京大がいかに施設・設備に恵まれているかがよく分かりました。
- 夏期休業中に大学の教室を借りたかったが、「顧問教授が必要」とのことでした。もっとサークル活動や自習者に開放してもよいのでは。
- 古いところと新しいところが混在している。伝統も守って欲しいが、サークル棟などの建て替えの話は早く進めて欲しい。
- 自習室を充実して欲しい。又、討論やグループでの勉強会が出来るスペースを増やして欲しい。
- 屋外に自由に座れるスペースがあるのはとても有難い。雨の日でも使える場所がもう少し設置してもらえたらとても有難いと思う。
- 土日など鍵を掛けられて出入り出来ないのは辛い。今、かなり利益を上げている訳だから、それを学生に還元して欲しい。
- 講義室の座席を1人分のスペースに余裕を持たせて欲しい。
- 海外の大学を見てきたが、芝生があって、そこで学生が昼食をとったり、一息ついたり…。もちろん敷地の広さのちがいもあるが、こういう憩いの場の拡充に期待。一方で、海外の大学は落書きだらけだったので、それに比べると、京大や日本の大学はキレイだと実感しました。

- 全面禁煙にすべきだと思う。
- 素晴らしい設備と思います。教官等、学生の人数に対応できていない気がします。
- 仕方がないが、校舎が工事になった時の代わりの教室が学外だと不便である。談話室など、常にクラスの人達と集まることができる場所が欲しい。
- 医学部として同じ枠組みで運営されているはずなのに、保健学科が医学科の教室を使用できないのは、おかしいと思います。特に、今年は耐震工事で校舎が一切使用できないのに、医学科の教室ではなく、大学外の施設で授業を行っています。同じ授業料を払っているのに、この扱いの差は如何なものでしょうか。改善を強く望みます。
- 自由に使えるスペースを増やして欲しい。
- 実際にはとても充実していると思います。でも、普通に生活しているだけでは、それに気づいていないのが実情です。
- 保健学科にもっとお金をかけて、きれいに使いやすくして欲しいです（バリアフリーなども考慮して）。
- 保健学科の施設が悪い。工事中で使えない教室が多すぎる。駅から遠い。
- 駅から少し遠い。
- 建物の中のゴミ箱（特に4共）があふれていて、目に付く。
- 演習室の使用可能時間を21:00ぐらいまで延長して欲しい。
- 建物が新しく利用しやすいです。
- 薬学部と吉田南キャンパスが離れているのは少し不便です。
- 薬学部のパソコン室と、その前にある机などが置いてある所にクーラーを設置して欲しい。
- 講義室から人があふれてしまうような状況を何とかして欲しい。もっと広い講義室を作るとか。
- ピペットの取り外しボタンがやたら壊れているんですが、何であんなとこ壊れるんですか？
- 新しいし施設も充実している。
- 私が在学中にも施設の開館時間は充実してきたように思いますが、欲を言えば、もっと長い間、開いていると嬉しいです。建物がきれいになったのは良かったと思います。赤レンガなどは残してほしいけど。
- 満足している。
- 京都大学は全体的に見て、設備が充実していて、研究等を行うにはよい環境であると思う。
- 設備は問題なし。非常に充実していると感じている。土日の開放をもっと増やして欲しい。
- 土日の開放をしていただければ…。
- お粗末です。大人しく、実験・研究する場合は最低限確保して欲しかった。
- 法学部に愛の手を
- イチョウ植えすぎ。
- 外国人男性にストーカーされていたが、どのように対処及び誰に言えば解決してくれるのか分からなかった。そのような施設があればもっと広めて欲しい。
- コミュニティスペースをもっと作って。
- キャンパス間が離れすぎ。シャトルバスの本数を増やして欲しい。
- きちんとルールを設けた上で、できる限り開放すると助かります。
- 申し分ない。
- 満足している。
- 施設・設備に関しては充実しているのではないかと思います。
- 利用可能な施設・設備がたくさんあるのに使用してこなかったのは、もったいなかったと思った。
- 自習スペースがもっと増えると、もっと快適になると思います。（空いている教室を開放するetc）
- 綺麗だし、荘厳な雰囲気もあり申し分ない。欲を言うと、法経会館の中の携帯電話の電波の悪さが気になる。
- 建物・教室の位置が分かりにくい。学内全体の地図をどこかにまとめて貼って欲しい。
- 「朱い実保育園」に京大関係者が優先されなくなったので残念。女性研究者への支援を！
- 現状で満足。
- 法学部法経本館について。教務掛前廊下が滑りやすい（特に雨天時）。携帯電話の圏外地域が広すぎる。（第四教室の机の傾斜がきつい。机の下に棚が欲しい）
- 仕方のないことではあるが、吉田キャンパスは少し狭い。
- 北部構内への車の入構ゲートにいる守衛の必要性に疑問を感じる。（ボタン押すだけなら誰でも出来るし、土日など外部から車が入りやすい時には誰もいない）
- 本学から離れた施設なので、電子ジャーナルで利用出来る雑誌をもっと増やして欲しいです。
- 農学部は他の学部 비해、施設・設備がよくないと思う。
- もう少し開館時間を長くして欲しい。
- 現状で満足している。
- 更なる充実を私は望む。
- 24時間思う存分勉強出来て、とてもありがたく、常に感謝を忘れないよう心掛けている。ただ、私のいる研究室は建物の入口に近いので、常に部屋の中がたばこ臭い。気分が悪くなるので、灰皿置き場を建物の入口から遠くに離す、プレハブの喫煙小屋を建てる、構内全て禁煙にする、などの対策をして欲しい。
- 研究環境として素晴らしい。これは個々の問題であり、研究室の研究費用等で左右されるので如何ともしがたい。
- 自習室を設けてほしい（LAN整備）
- 大変満足しています。
- 素晴らしい。
- 特に問題はないと思います。
- 農学部グラウンド横の御蔭通りに抜ける砂利道の一層の改

善を望みます。

- 移転問題のトラブルはあまり気持ちの良いものではないですね。建物が新しくなるのは良いことですが、竣工までの間に在学している学生の事をもっと気遣うべきですね。
- 無駄な工費を使うな。国の金もったいない。
- とても充実していて満足しているが、どこにどんな施設があって、誰がどんなときに使えるのかということをもっと分かりやすく周知させた方がいいと思う。その方が施設が生かされるので。具合が悪くなった時に休める場所が欲しい。
- もう少し広くして欲しい。
- 自主ゼミなどを行いやすいように1日中利用が可能なスペースや図書室があれば良いと思う。院生室の不足も問題だと思ふ。
- 石垣の立て看板が大変見苦しい。
- 研究室の設備のなさに驚いた。
- 研究室、多すぎないですか？院の進学率が高いのは良いですが、どうでもよい研究にお金をつぎ込むのもどうかと思います。
- 雨水の排水処理をもう少し工夫して欲しい。
- 図書館くらいしか使わないので良く判らない。今年は引越で大変だった。
- よい。
- 良いと思う。
- キャリアサポートセンターはもっと前に出て欲しい。博士課程やポストドク向けのサポートも始めつつあるようなので、その辺のところについて今後期待したい。
- 仮眠室・シャワー室がほしい。桂にはあるらしい。
- 水族館の実験設備をもう少し立派にして欲しい。
- 概ね満足。
- 充分。
- 研究室、学部による差が激しすぎる。
- 贅沢だと思うほど充実していると思う。
- 主に利用する場所が汚い。
- 満足してます。
- 大学の施設・設備は充実してきていると思います。どのような施設・設備があるのか知らない学生もいると思いますので、広報にも力を入れてもらえると助かります。また、学部間・分野間・研究室間で施設・設備を簡単に使用できる体制を考えてもらえると幸いです。
- 普通
- 混沌としながら、急速に進む生命科学において、研究を支える研究設備もまた重要です。ところが、京都大学は共同設備が充実していません。例えば、共同で使える質量分析センターなどを設置していただきたいと思います。
- 全学部・学科が1ヶ所にあるのが最大の魅力であったので、工学部の移転には不満。
- 非常に恵まれた環境で研究できており、施設・設備につい

ては、大変満足している。

- 院生が自由に使用できる教室を増やして欲しい。
- 屋内で自由に憩える空間の充実。清潔な空気・水のための設備。落ち着いて研究・思索できる美的デザインの建物・室内。ある程度の緑の確保などが進められると嬉しいです。
- 女性研究者支援センターの活動が盛んになっているようで、期待しています。
- 南西病棟に明るさがない、閉鎖空間を感じ、時々息苦しくなる。
- いいと思います。
- 学生の頃より随分進歩しています。
- ベンチを作って欲しい。1つもないから。仮眠室も欲しい。
- 建て替えが大学内で行われているが、それにあたって引越作業に1ヶ月費やした。3月にはまた引越作業を行わなければならない、今年は12ヶ月のうち2ヶ月を引越にあてることになり、その被害を受けた大学院生の事をどう考えているのか知りたい。今年だけでも授業料減額などの対応があっても良いのではないかなと思う。
- 良いと思います。伝統を守りながら更に発展して欲しい。
- 大学はとても施設や設備が良いと思う。風通しをよく、換気もよい、学びやすい環境になっていると思う。
- 充実してると思います。
- 十分な施設・設備を提供していただきました。
- 各施設に対して「格差」がある。平等に教育施設の充実を計って欲しい。
- 附置研は研究所ということもあって、教育施設が十分でないように感じる。
- 設備は最低限のものでよいので、学費の負担を減らして欲しい。
- 喫煙の場所について。喫煙は確かに個人の自由であるが、他人に悪影響を及ぼすのは明らかである。そのような中、大勢の人々が行き交う玄関。入口に喫煙場所を作るのはあまりにも馬鹿げてはいないだろうか。特別な部屋を作り、特別な排煙システムの部屋で喫煙してもらいたい。強く願う。もし妊娠中の女性に悪影響が出た場合、一体誰が責任をとるのか？
- ほぼ良い
- 京大に限った話ではないが、一方的な喫煙いじめはおかしい。私は、たばこを吸わないが、かなり問題があると思う。例えば、農学部では全館禁煙となっているが、館内に喫煙スペースをとるべきだと思う。健康増進法が云々とかいう、馬鹿な言い訳はおかしい。
- 共に他大学より恵まれているとは思いますが、管理不十分な所もあるように思われる。
- 充実していると思う。
- 大学内の水が非常におかしな味がするのですが、飲み水として安全なのでしょうか？

- 学割をとる機械の使える時間をもっと長くして欲しい。
- 良い。問題はない。
- なかなか良い。
- 優れた施設・設備があるにも関わらず、学生の間で知られていなかったり、使い方が分からないことが多くある。学生に施設の利用を促すような紹介冊子もしくは情報端末があると良いと思う。
- カフェテリア的な自由にくつろげるスペースを増やして欲しい。
- 研究室間で計算設備等に大きな差がある。格差を是正すべきだ。お金のない研究室は必死でやりくりして頑張ってる結果を出しているが、裕福な研究室は、資源・設備をムダにしている気がする。年に1回、成果を見て、相応に分配（OorALLではなく、臨機応変に）してはどうか。
- 充実していると思う。
- 不満なし。
- 学部1〜3年生においても研究室のような自分の机が欲しかったです。
- 日本のキャンパスは、概して建物に対して一貫性がありません。違う雰囲気ビルが乱立しているという感じで、趣を感じられません。そして、将来何十年も使っていくことを考えたビルを建てているのでしょうか？これでは、何十年後にまた取り壊せばいいやみたいな建物が多い気がします。
- 24時間使える研究室・パソコン・実験装置など、充実しており、研究生活において不満はありません。
- 自習室にお互いの顔が見えないような机があると良い。
- 研究室をもう少し広々と使用できるようにしていただきたいです。
- 10年前に学部生として在学していた時と比べれば、信じられないほど快適できれいな環境になっていると思います。
- 個人的には満足している。ただ、これ以上、施設・設備を増やすよりは、研究室の事務をしてくれる人を雇って欲しい。
- 研究棟にシャワー室・給湯室が欲しいです。
- 大学入り口に建物配置図はあるものの、各建物に建物内の教室配置図が無い。学期初めや教室変更の際しか困らないといえば、それまでだが、通常、公的施設は建物内に教室配置図はあってしかるべきではないかと思われる。
- 制約の多い多目的室ではなく、もっと空き教室を自由に使えるようにしてほしい。
- コピーの無料化と法科大学院棟資料室の法学研究科提供コピー機の増設
- 法科大学院自習室のパソコン使用禁止及び区域指定。座席の固定。ロッカーの増設。
- 大学のコピー機の数を増やして欲しい。休日も多目的室を使わせて欲しい。
- 在学中（数年前）、吉田南キャンパスの校舎が新しくなりましたが、私大のような様相に変わりがっかりした覚えがあります。
- 法科大学院専用の棟が欲しい。自習室を24時間にして欲しい。自習室の机を増やして欲しい。自習室まわりの充実を望みます。
- もっぱら鉄筋コンクリートだ。
- 法科大学院について言わせてもらえれば、ロースクール棟と教室・事務が離れているのは不便だと思う。
- 講義中、マイクが使用できないことがしばしばあるため、点検をお願いしたい。
- もう少し充実すると良い。
- 治安面では見直しの必要があるのではないかな。
- 24hs使用できるスペースの拡張が出来ればより良いと思われる。
- 他大学に比べ、施設や設備は優れていると思う。講義室にエアコンが導入される前は、悲惨だったが。
- 新しい建物（特に総人）は無駄が多い。その予算をこちらにも回して欲しい。
- 各研究室のスペースがもっとゆとりをもてたら良いと思います。
- 一般的に充実していると思います。
- 学生のための自習スペースがもっと欲しいです（コーヒーを飲みながら落ち着いて勉強出来るような場所）。
- 建物による設備の不平等があるように思う。
- 特になし。さすが、京大だなと感じました。
- 「吉田寮に住んでいる」ことをバイトの採用時に知られると、良い顔をされない（特に教育関係のバイト）。又、吉田寮の1階に住んでいるのですが、地震の時につぶされそうで不安です。又、京大生の中の知人に知られた時も、その反応が嫌なものであった。何とかならないものだろうか、この社会的偏見は。本当に苦しくて精神科に行っても、行く時に限って（というか元気でないと行く気にならないのですか）元気なので、相手にされませんでした。ショックでした。
- 十分に充実していると思う。さすが京大という感じ。
- 理学部6号館が18:30以降と休日に閉まっているのはとても不便です。学部学生が放課後休日に利用出来るようにはできないのでしょうか。特に課題演習が始まってからは、この不便さを強く感じるようになりました。
- 充実しているが、学生が安らげる場所を学校内に作って欲しい。草原とか。
- 博物館が無料なのは嬉しい。海洋生物などがいたらいい。
- 留学生の学生寮は必要と思われる。出来れば、現行の寮に加えて、大学に近接した場所に、日本人・留学生が混住出来れば相方にとって利益がある。
- 良い。
- 朝早くから夜遅くまで使えるようにして欲しい。

- 開放時間（特に朝）の拡大を…。
- 工学部が可哀想。法学部なんてどーでもいいから、工学部を助けてあげて！
- 学部の建物が他学部と比べると、ぼろい、使いにくい。専門科目の情報（休講など）を家でパソコンなどを使って知ることが出来るようにしてほしい。
- オープンスペースが他大学に比べ大きく欠如している気がします。研究室を持たない学部学生にとってゼミの話し合いや、雑多な会話などのコミュニケーションをとるスペースが少ないです。
- 談話室を作って欲しい。経済研究棟1階にあるような、生徒が会議できるスペースを色々な所に作って欲しい。ゼミの打合せ場所がない。
- 1回生から使えるロッカーが欲しい。出来れば、授業の合間に横になって休める休憩所があると助かる。
- 私が大学生を送る範囲では、特に言うことはないと思います。大変有難く使わせていただいています。
- 充実していると思う。改善しすぎでは。
- 具体的にどうこうということはないが、利用できるサービスが分かりやすいと有難い。
- 建物により、講義室などの快適性に大きな違いがある。
- キャンパス内はきれいなので、西部講堂の辺りのボコボコの地面を何とか少しでも土を入れて直して欲しい。きれいになれば不法投棄もなくなると思う。
- KULASISのようなシステムを専門科目にも作って欲しいです。
- 自分が利用する施設と利用しない施設の差が大きすぎて、何とも言えないが、京大には多くの施設があり、自分がよく利用する施設に関してはとても充実していると思う。
- 空調（特に冬の講座）をきちんときかせて欲しい。1限目は特に冷えて、とても寒いので、10分前ぐらいに一斉につけるなどしておいて欲しい。
- 文学部のスペースはもっと広い方が良いと思う。
- 所々、きれいになっているようで良いと思います。
- 現在3回生だが、1、2回の時よりも充実している気がする。
- 文学部の廊下が暗すぎて、気味が悪い。節電は良いことだが、ちょっと暗すぎると思う。
- 概ね満足している。
- 工学部は学部生と教官の距離が遠すぎる。
- 夏休み時の施設開放の有無がいまいち把握できなかった。
- 昼にも使用可能に。
- 学内で荷物を預けることができる設備が是非と欲しい。あと、下宿の家賃がとても高いので、まともな学生寮があったら良いと思う。
- 昼ご飯を食べやすいようなテーブルや椅子があればと思います。
- 工学部棟が全学の建物にもうちょっと近かったらいいのに…。
- 工学部近辺にもおしゃれな休憩スペースが欲しいです。また、24H使える自習室（ただし、ちゃんと管理してほしい）も欲しいです。
- 十分だと思いません。
- 物理系の校舎はとても立派なのに、航空宇宙だけ……。ひどいや。物理系校舎東側の空き地に何か建てて。仮眠棟とか。
- 設備に関しては特に不満はない。
- 観光都市京都にふさわしい緑あふれるキャンパスにしたい。
- 完璧とは思わないが、十分満足している。
- 寮を改築して、誰でも入りやすい雰囲気を作るべき。寮制は友人作りや社会性を育てるのに効果的だし、1人で不安を抱えることも少なくなる。京大生は1人で考えすぎで皆不幸だ。お互い話し合う機会を強制的に作る必要がある。
- 充実していると思う。
- きれいな所、そうでない所の差が激しい。全体的に履修人数に対して教室が狭すぎることが多い。京都大学は交通の便が悪い。京都駅から遠いし、地下鉄もないし…。桂も完璧隔離だし。
- 学校の勉強出来るスペースなどをもっと設けてほしい。
- このままでOK。
- 人数がいっぱいになる授業があるので、広い教室でやって欲しい。
- 施設は整っていても告知が十分でないために利用していないというのが多い気がする（今2回生だが、学科の自習室が使えることは今年知った）。
- テスト期間になると図書館などの自習スペースが人でいっぱいになる。他の大きな教室など、可能であれば開放して欲しい。
- 三回生になって三回生控室が使えるのが嬉しい。それに24hいつでも学校に入れるし。
- 道路の整備が唯一望むところです。
- 新しくなってきたので、使いやすい。
- 充実していて特に不便に感じたことはありません。
- 博物館を大きくして下さい。
- 必要なのかと思われるところに時々お金が掛けられているように感じる。
- 充実していると思います。
- 狭い。
- 後ろの席にすわると、黒板が見えない教室がある。
- 自由に使えるスペースも多く、うまく設計されている。
- 概ね満足しています。
- 空いた時間にゆったりとくつろげるスペースが少ない。談話室として利用できるところがほとんどないと思う。
- 一部、窓のない講義室があるのを改善してもらいたい。
- いい方向に向かっていると思うが、もっと充実させて欲しい。

- 充実してると思う。
- 良いと思う。
- 施設・設備はどんどん新しくなって嬉しいのですが、空調や照明のつけっぱなしが各所で目立つように思うので、無駄を無くしていけるよう対策を立てていただきたいです（貼り紙や意識指導など）。
- すごいんじゃないですか。
- 申し分ないです。
- 24時間開いている自習室が欲しい。
- 概ね良いのではないかと思います。
- 学部施設を休日も開けて欲しい。
- いいと思う。
- 変わらない。
- 増えてきてはいるものの、自由に使えるスペースが少ない。
- フリースペースをもっと作って欲しい。
- もっとベンチなどの休息スペースを増やして欲しい（特に吉田構内）。

(4) 大学生活全般について

- 京都大学の学生生活が、他大学と大幅に違う面があり、時折悩みを抱いてしまう。何か雰囲気が入学前に抱いていたものと違って辛い時があった（ある）。
- 十分。
- 学生がスポーツをすることは良いことだと思いますが、例えば吉田構内のメディアセンター前で大勢が集まっている様子は、目に余るものがあります。難しいと思いますが、空間上、学問の場と課外活動の場を分けてもらえたら、と思います。
- いろんな人と出会えて学ぶことが多いです。
- 学生の自主（自治）活動の制限が大きく、大学側の都合で一方的に変更、禁止をしたことが独法化以降多すぎると思う。そもそも一体、何のための大学なのか、京大の学風が薄れていると思う。
- 思ったより普通の人が多い。単位にしか興味がない学生の多さには多少失望している。辛いことも多いが自分なりの努力をしている。人間関係は悪くない。
- 自由でよい。
- 特に不満はありません。関東からはるばる京都まで来た甲斐があったと思っています。
- とても不安定な時期
- 今のところ、充実した大学生活を送れていると思う。
- かゆ うま
- 他の大学に比べて自由にやらせてもらっているのはありがたいが、ある程度の縛りがないと、勉強しない人はどこまでもしないので、その辺の加減をうまくやってほしい。
- 良い大学生活が送れました。
- 不満なし。
- 私の学部では、やりたいことが定まらず、進路に悩む人や、大学教育の意義を見出せない人がいます。課目選択をまったくの自由にするのではなく、ある程度系統立てた区分や課目選択例、先輩の体験談などを示していただけるとありがたいです。
- 楽しいです。
- 今はかなり満喫しているが、将来のことを考えると少し不安になる。周りを見回しても、将来のビジョンまでの確に描けている人は案外少ないように思う（例えば「研究者になる」という人は「博士浪人」のことを知っているのか、など…）。これも本来は自学すべきものなのだろうけれど、ある程度、就職・進学の際の厳しさの現況を提供して頂けると有難い。
- いろんな人に出会えて楽しい。
- 基本的に満足。
- 満足している。
- 友達付き合いがうまく出来ずというよりも、大学に行っても友達に会えない時が多くて、大学があまり好きになれなかった。特に4回生の今。

- 全体的な印象として、学部生の自治の組織が貧弱であるため、学生の学ぶという点での権利も制限されている面がある。その分、大学側から積極的に学生の要求を吸い上げることが必要であると思う。また、ある程度、学生の組織への援助も必要な気がします。情けない話ですが…。「自由の学風」を最も享受しているのは教員のように思えます。
- 残りの学生生活を楽しみたいと思います。
- 自転車のマナー、などもそうですが、他の人のことをきちんと考えれば、自ずと気をつけるようにできるはずだと思います。だとすれば、マナーが悪いというのは他の人のことは考えられない、もしくは考えていない、ということになってしまいます。こういうことは外からはよく見えるので、大学の実態として捉えられなければよいのですが、と思っております。
- 特に不満はありません。欲を言えば、自由な時間がもう少し欲しいと思っていましたが、今は限りある時間だからこそ有効に使いたいと思っています。
- 入学前にしていた仕事の影響で、入学後、環境の変化から精神的に不安定となりましたが、カウンセリングセンターのお陰で落ち着いています。このことは非常にありがたかったです。センターがなければ、今頃中退していたと思います。
- 友人に恵まれて楽しめています。
- 情報取得の場が分かりづらい（進路、学業など）情報取得の機会を増やして欲しい。
- 京大は自由で楽しいけれど、周りに流されたまま大学生活を終えてしまう人が多そう。
- カリキュラムが忙しすぎる。
- 高校生までの頃とは全く違う生活になった。
- 昼休みに食堂が混雑するのが少し疲れますが、それ以外は特に問題なく過ごせています。講義はもちろん、友人関係なども充実しています。
- 大学はとても楽しい！
- やっぱり勉学に励むのはなかなか充実して良いなと思う。周りの友人がしっかりしていて、自分もつられて頑張ろうと思えるので、良い仲間に出会えて良かった。京大生、やる時はやるけど、本当にどうしようもない、世間知らずの人もいる気がする。
- 特に京都大学に限ったことではないのかもしれませんが、入学後から現在に至るまで時間を作ろうと思えば、自分の裁量でどうにでもなってしまうということに今現在も時々驚きます。与えられた自由な時間をどのように使ってゆくかは自分次第であるが故に、今自分はどう生きていくべきと考えているのか、ふと気になって考えてみるのが時々あります。
- 彼女とも順風満風です。By the way 僕、薬学に向いてないんですが、どうすればいいですか？飼育員になろうかな。
- 海外留学のプログラムをもう少し充実させて欲しい。
- 私は女子寮に住んでいるので、大学の恩恵を非常に受けたと思っています。お陰で楽しい学生生活を送ることができました。ありがとうございます。また、京都大学は自由の校風が言われますが、最近それほどでもないような気がします。（それでも他の大学よりはだいぶ自由だとは思いますが…）学生が自分できちんとやれなくなったからでしょうか。その点は残念に思います。
- 今年の4月から大学生としての新しい生活が始まったわけですが、サークル、アルバイト、そしてもちろん学業も全て今までの中・高とは違って、密度の濃いものだなと思いました。更に、これからは学業が難しくなると思われるので、しっかりと対応できるように勉強していきたいと思っています。
- 満足している。
- 毎日楽しく過ごしております。おわり。
- アルバイトやサークル活動などを行う上で、授業のカリキュラムが学年によって大幅に変わるため、学年が変わると同時に、満足に収入が得られなくなるなどして困ることがある。
- 自由の校風が好きです。
- 今、楽しい。
- 学生の質を向上させるために、大学が変化していくことを望む。もう少し勉学に集中できる（させる）体制、例えば卒業論文の強化、金銭的補助などが整うといいと思う。
- おおむね良好な環境と思います。
- 最近の学部生はモラルがなさすぎて、同じ空間にいるのも嫌気がさします。しかし、国内留学という制度で他施設で実験研究ができていた点には満足しています。
- 人間健康科学系専攻の院が初年度という事もあり、不備が目立つ。所属学生の人数が少ないのであれば、もっとその有効な面を生かしたカリキュラムの考案が望まれる。
- 楽しいです
- 防犯ブザーの貸し出しはとても嬉しかった。私の知り合いの学校では、こういうことを行っている所はなかったので、心強い学校だなと思った。
- 法人化以後、あまり良い事が無い気がします。
- 立て着は景観を悪くするから全て禁止にすべき。
- 先生からの印象が無いことを除いては順調です。
- 特に不備はないです。
- 非常に充実している。
- 満足している。
- とても充実した学生生活を送れているので、これからも頑張りたい。
- 生活環境として京都にはすごく満足している。自分としては、もっとアクティブに行動して、趣味の幅を広げられたら良かったと思った。しかし、様々な価値観の人々に会い、高い水準での研究活動を行うことが出来たことは、財産であると思うし、この5年半は自己形成に大きく寄与した新鮮で濃密な時間でした。

- 特に院生へのフォローをきちんとして欲しい。友人の何人かが大学院の途中で姿を消した。研究室での人間関係（いじめなど）、教授による見えない圧力などが原因かと思われる。もし彼等が自殺でもし、マスコミに取り上げられたらどうなるのか？大学院は研究室という狭い社会で過ごすことが多く、特に危ないと思うのだが。
- 入学前はバラ色の大学生活かと思っていましたが、実際に入学してみるとNEETまっしぐらでした。
- 京大は入ると満足な点がいっぱいあります。例えば、おもしろい友達がたくさんいたり、逆に変な友達がたくさんいたりする点です。
- 頭が悪いのに、六法系の授業に執着しすぎて進路選択がうまくできませんでした。もっと早く自分の適性を見極めて、進路を考えたら良かったです。そうしていれば、部活も辞めずにもっと充実した生活を送っていたのかなあと思います。
- 自由な学風で非常に楽しく過ごせており、非常に満足している。
- 1人暮らしは色々大変です。あと4年続けられるか、微妙かもしれません。専門の単位を取る難しさを改めて実感しました。卒業出来れば満足です。
- 現状で満足。
- 盗難が多すぎる。自分は被害に遭ったことはないが友人が多く遭っている。
- 編入生の新歓パーティーのようなものをやって欲しかったです。
- 満足している。
- 楽しくて基本的には満足している。
- 楽しすぎました。
- 充実している。
- 大学院においては研究者を育てるという意識を大学としてもっと明確にした方がよい。
- 満足している。
- みんな生き生きとされている。環境づくりが大切だと思います。
- 自由に研究ができ、かつ学部・学科でのソフトボール大会など、交流できる場があり、良い大学生活を過ごせていると思います。
- もはや大部分の時間を研究室で過ごしているので、自らで生活管理する段階だと思います。利用可能な設備について等以外は特に希望はありません。
- 充実しています。もっと外国人を増やして下さい。
- 自由な時間が多い分、考えさせられることが多いです。個々の能力、個性が表に出てくる時期でもあると思います。この時期をどう生かすかで、今後の人生も大きく変わってくると考えています。
- もっと学生を厳しく律すべき。墮落の極み。
- 国立近代美術館の割引や無料といった制度があるが国立博物館についても同様の制度があればよいと思う。
- 自由な雰囲気京大の長所だと思いますが、京大以外から進学してきた者にとっては、その風潮は不安要因にもなりかねません。その辺りの配慮もお考えいただけると幸いです。
- 夏の暑さ、冬の寒さが厳しい。
- 人生について考える時間が欲しい。疲れた。
- 楽しい。
- やはり学生生活は楽しい。じきに終わりかと思うと感慨深くもなるものだ。
- よい。
- 毎日、充実した生活を送っています。
- 人それぞれだと思う。
- 研究室に所属すると、いつも同じ人としか接しなくなり、危険な気がする。結局本人の心掛けしただけけれども、もう少し異分野間の交流があってもいいかも。
- 研究生活においては、健康管理が非常に重要です。食生活に関するポスター等、体調管理に役立つ情報を学内で発信して頂ければ、学生の自己管理の意識の向上につながるのではないかと思います。
- 今は研究室生活が忙しいため、毎日朝から深夜まで自由のない日々が続いていますが、全般として、京都大学を選んでよかったと思っています。これからもよりよい環境をつくっていただけるようよろしくお願いします。
- 寮の風呂・トイレを各部屋に付けて欲しい。
- 優秀な学生が周囲に多数居り、有意義な時間を過ごせていると思う。
- 特に不満はない。
- 北部の治安が悪くて不安です。
- 大学周辺の環境浄化に取り組んで頂きたい。
- 大学院同士の交流が欲しいです。優秀な学生が次々と就職する理由のうちの一つに、あまりにもよんだ人間関係に耐えられないというのがあると思います。
- 自由な学風は良いし、このまま継続させて欲しいと思う。
- 20代のうちに行った事、出会った人がその後の人生を決めると言っても言い過ぎではないだろう。私は、博士進学を決めたM2の学生であるが、正直、就職、将来への不安、経済的な不安がある。そのリスクをかけても進学をしたのは、世のためになるには科学技術を修得しようと考えたから、その為に日本で最もレベルの高い京大に入学した。いつかここで学んだ事を生かして、世の中に貢献したいと考えている。
- 生活に関しては大変満足している。
- とても有意義です。
- 大学内は広いと思うので、できればシャトルバスなどがあれば助かります（吉田キャンパス）。
- 満足しています。
- そろそろ卒業したいです。

- 関係ないけど、京都は物件が高くて苦しい。
- 他研究科間との交流がもっとあれば良いと思う。
- 仮眠設備が欲しいです。
- 研究室と家の直行直帰、土日・祝日の休みも一人文献探しと読みで、正直続けられるか自信がない。
- 仕事ばかりしています。
- 独立生計を営んでいますが、個人でアルバイトをすることが（教室から許可を得なければ）事実上、許されていません。現在、奨学金をとり、何とか生活出来ていますが不安です。教室による学生への生活の制限はあくまで学業についてなら納得がいくのですが。金銭面での不安が強い状況では、学業にも支障が出ます。ただし、このようなことを公言すると、金儲けがしたいのか、という批判を受けかねない空気が教室内にはあり、今のところ誰にも相談出来ません。
- 今年は研究室の引越の負担が大きかった。引越を一度までならともかく、二度もしなければならぬことは、本当に負担でしかない。実験も止めなければならず、研究生活にも影響が大きい！この大学院生が受けた不利益について、何かしらの対応を望むばかりである。
- これといったこと無し。
- 京都大学は、自由な校風、自主性を大切にしており、研究するにはとても良い環境であると思う。京都大学で勉学・研究、また多くの人々との出会いの中でより人間的に成長できると思う。
- 悪くはない
- 楽しくやらしてもらっています。
- 大学院に入ってから外国の留学生との交流が増え、例えば、一番携帯メールのやりとりが多いのが、ある留学生だったりと、（こちらとしては）対等に、また身近につきあえることがとても嬉しい。また、他大学では学内での飲酒が禁止されていたり、夜間はキャンパスに入れなかったりするそうで、この大学の学生への信頼と自治の伝統のすばらしさは永続させたい。本当に素晴らしい大学に来れたと思う。京大よ、永遠なれ!!
- 「大学生生活」の全般について、ここで意見を言うことの意義がわからない。それを充実させるのはあなた方ではない。そういう浅薄なコンシューマリズムに則って大学を調べても「学生」には寄与できないと思う。勉強を提供する、研究の場を提供することの一貫として「生活」を保障するという視点なら話は変わるが。
- 毎日幸せにうきうきと生活しています。
- 事務職員の増員と研究費（科研費の間接経費）の使途を分かりやすく公開して欲しい。独法化以降、研究、教育活動が阻害されるほど、研究室への事務処理負担が増えているので、各研究室への常勤スタッフの配置、事務職員から派遣会社を除くことを要望します。
- 学部3年で、院も3年くらいがちょうどよいのでは？学部

- の時、暇すぎで、院が忙しいので。
- 各キャンパスの間の距離が遠いので、友人とコミュニケーションがとりにくい。
- とても恵まれた環境で学ばせてもらっていることに感謝しています。研究面での不便は感じたことはありません。ただ、キャンパスライフとしては、コンビニが近くにあると良いのに…とは思いますが。(24時間営業の)吉田と異なり、生協以外の店が近くに全くないのは飽きます。
- 学生の自治を尊重し、大学側はなるべく学生の行動に規制や制限をかけないで欲しい。自由の学風は京大の宝だと思うので、これからも守り続けて欲しい。
- もう1度やり直したい。
- 学部を含めると6年間、大学で過ごしてきて、様々な出来事に遭遇したが、大学の内部のことで未だによく分かっていないことが多い。学生のニーズと大学のニーズなどがうまく整理されてあると、学生ももっと幅広くやりたいことが出来ると思う。大学を“うまく使える”ような、そんな仕組みがあっても良いと思う。
- 良い学生生活が送れています。
- 満足している。
- もうちょっと有意義に過ごす方法があった気がする。
- 非常に無意味な大学院での2年間を送らせていただきました。
- 大学院生活は研究室単位で偏りがありすぎると思う。もっと統一的なカリキュラムなどがないと研究室選びのリスクが高すぎると思う。
- 基本的には適度な忙しさと、自由さで素晴らしいと思う。せっかく素晴らしい先生方が多いのだから、他研究室や他学部の素晴らしい先生方のお話を聞いたり、考えに触れる機会があればよいのになあと思う。
- これまた自由にさせていただいています。
- 自分としてこれまでの学生生活の中で時に大きなトラブルに巻き込まれることなく過ごすことが出来たので、これからもこの調子で何事もなく卒業できたらいいと思っている。
- 総長、カレーはおいしかった。
- 基本的に快適な生活を送らせていただいて感謝しております。でも学内に郵便局があると便利です。是非とも宜しく願います（振り込みに行くことが近場で、例えば百万遍などにあるんですが、正直言えば面倒だと感じてしまうので…)
- 研究をしていると、帰りが遅くなり、自炊や家事ができなくなってしまうことが多いです。その結果、外食が増え、食費がかさんでしまいます。研究は楽しいですが、周囲の学生を見ていると、自らの学力不足及び研究に費やす時間の短さを感じることもあり、自信を無くしてしまうことも時々あります。
- 京都という環境にあり、大変有意義ではあるが、息苦しいキャンパスであるとしばしば感じないこともない。

- 大学院生活になってしまうが、研究生生活としては満足している。けれども、研究職に就くことの困難さを考慮すると、なかなか経済的な心配をしてしまい、研究に集中できないことがある。
- 全体的に充実しております。
- 全体的な大学生活に関しては満足している。何だかんだ言っ、京都大学はいい所だと思う。
- TKCについて、①毎回、ID・パスワードを入力しないとイケないことや、②判例検索システムが検索範囲入力後にダブルクリックで作動しない(「検索」をわざわざマウスクリックしないとイケない)こと、③(各項目の「お知らせ」画面も表示事項の重複があるのは見にくい。)休講情報など、とくに事務室からの連絡事項が、その内容にたどりつくまでにいくつもファイルを開けたりの時間がかかり不便すぎる。④2005年以降の文献がまだ入らない。⑤収納されている文献が少なすぎる。等、使いづらいです。これは、TKC供社の管轄なのかもしれませんが、学生が言っても大して取り合ってもらえないので、学校側からも改善に向けて行動して頂きたいです。
- 学内に不審者が徘徊していることが多い。時々不安感を覚えます。
- 京大の学生は人格的にも優れた方が多く、環境がとても良いと思います。
- いえ〜い。わーわー。勉強ばかりやってるでー。わーわー。
- 授業料の振込用紙に本人の名を記入しないで欲しい。本人が支払うならともかく、実家から支払う場合には、本人確認書類がないなど、手間がかかるので。本問の趣旨とは違うかも知れないのですが、他に書くべき所がなかったので、こちらに記入しました。
- 学内の喫煙者について。喫煙所の設置は構わないことだと私は思います(ただし、施設の出入口付近に設置するのは…)。特に困っているのが、歩き煙草です。自転車で通る人が多いので、非常に危ない。
- しんどいです。
- 法科大学院生の中には追い詰められ、精神科へ通院している者も少なくありません。相談体制、カウンセリング体制の整備を是非ともお願いします。
- 不審者が比較的容易に入り込んでくる。前期、ロックされているはずのLS棟内にまでいた時には管理体制を疑った。見学・観光等で訪れる方が多いというのは分かるが、出入りを自由なものとしている以上、安全管理は徹底して頂きたい。
- 大学という巨大組織である以上、学生や院生のみならず、教員、事務職員等、それぞれにとって快適な環境づくりを目指してもらいたい。特に、教員への負担増加は結局は教育水準の低下につながるのではないだろうか。
- 満足している。
- 勉強する意志がある人は出来る環境が整っていると思う。アカデミックハラスメント(前にいた国立大学ではあったが、皆が口をつぐむ状態)もなく、私にとっては最高の学校だと感じている。
- キャンパス。特に吉田キャンパスの管理レベルが低い。大勢の警備員がいながら、十分な指示が与えられていないように思う。例えば、立命館の衣笠キャンパスは警備員1人でキャンパス内のバイク走行はゼロである。要は工夫である。現在の状態で事故が起きた場合、大学側の管理責任が間違いなく問われるだろう。
- 博士課程まで過ごすまいが大学生活に飽きてきた。何か活動を起こすきっかけのようなものが欲しい。
- A号館における自由なビラ配布の制限など、自由な学風が少しずつ失われていると感じる。もっと自主性を重んじるべき。
- ほとんどの点で満足している。研究に専念するには最高の環境であると感じている。
- 周りの大学院生で研究で健康を害していると思われる例が少なくない。
- もっとお金があって、早くからパソコンも所持しておけば、留年などせずに済んだと思います。つくづく残念な大学生活でした。
- 授業を多くとると、他の活動がほとんど出来なくなる気がします。(他の活動の開始時間はたいてい4限終了時からのので)又、一回生前期のうちに何かサークルや部活に入るなどの活動をしないと、後からではものすごく入りにくい(情報が少ない・勧誘もない)です。結果、暇で憂鬱です。勉強しかすることがなくて悲しいし、頭も全然働かなくなります。
- 理学部に入って物理をたくさん勉強できると意気込んでいたはずなのに、何故か勉強意欲が湧かない時もあり、自己嫌悪に陥ることがよくあります。レポートに追われてやむなく机に向かい、何とか日々の課題をこなしている自分の姿が悲しい反面、レポートがなければそのような最低限の勉強すらできていないのではないかとレポートの存在に感謝することもあります。何が自分に欠けているのか…未だ答えは見つかりません。
- とても楽しいし、友人にも恵まれている。もう少し単位が欲しい。
- 東京大学は、授業料相当額を捻出して、博士後期課程の経済的な負担を小さくして、優秀な学生を囲い込む動きに出たそうです。京都大学も同等もしくはそれに勝る方策を出さないと、学生が流出してしまうのではないのでしょうか。
- 充実している。
- 数うち当たりの方法をとっているような気がする。まあ、しょうがないけど。
- 授業85分+昼休み85分化希望
- 楽しいからよし。

- 基本的に満足している。ただ教育体制の改善を望みます。
- クスノキ横にへんな札立てないで欲しいです。すぐ冷暖房に頼らない環境欲しいです。
- 質の高い授業、研究環境を整えてもらっていると感ずます。しっかり活用して、充実した学生生活に役立てたいと思います。
- 部活が生活の中で大きな割合を占めている。友人もほとんどが同じ部活の人で、学部内の友達が少ないのが少し残念であるが、だいたいにおいて楽しい生活を送れていると思う。
- 良い環境で勉強に励むことができる。
- 自分自身の努力が必要な面もある。
- 4回で来年から卒業して社会人ですが、本当に学生生活を楽しませてもらいました。これで卒業させてくれたら本当に最高です。
- 楽しい。しかし恋人はいない。変人なら評判に違わずたくさんいるが。あといい加減に真面目に勉強したい。
- 他の大学と比べ、公務員試験対策を学校が殆どしていない。予備校と提携して安く受講できたり、大学自らが試験対策講座をしている大学も沢山あるようで、羨ましい限りです。
- 夜遅くまで使える施設が多くて助かる。一方で大学の周りで暗く危険な場所がある。
- 夏にクーラーをかけすぎだと思う。寒いほどに付ける必要はないし、研究活動の最前線に行く大学で、地球温暖化のことを実際に気にかけていないように思われるのには驚いた。
- 印刷枚数制限をもう少し増やしていただきたいです。200は普通にレポートだけ印刷していても結構きついです。
- 高校の頃に比べたら勉強もしていないし、怠惰な生活をしてしまっていると思う。時間の使い方が下手で、ひたすらサークルの練習に時間を費やしている。
- 課外活動、勉強、アルバイトの両立に苦労している。特に休暇中はいろいろな事ができる時期であるにも関わらず、課外活動一本になってしまい、終わってみるといつも後悔しがちである。体育会に所属しているため課外活動に時間をとられるのは承知の上とは分かりながらも今しか出来ないことに思い切って取り組みたら充実した大学生活が送れるのと思う。
- 自転車マナー、喫煙マナーが悪い。歩行者がよけることを前提とした自転車の歩行が目立つ。当たられたりすることもあり、非常に危険である。講習などをして許可を与え、危険な走行をしたらそれを取り上げるなどするべき。喫煙しながら歩いたり、建物入り口で喫煙されるのも迷惑。それも取り締まって欲しい。
- とても楽です。
- 博物館・美術館の利用特典について知らない人が多いのではないのでしょうか。
- 変な人（私もですが）ばかりで全く馴染めません。友人や恋人を作ろうという目標はなかったので、別にいいのですが、大学生活はやはり楽しくないです。多分中退します。
- 今のところ、身近に心をわって話せる友人などがいないので、悩みなどを持つとひどく孤独な気分になるのが辛い。
- すごぶるおもしろくないです。
- 大学はアジールであるべきだと思います。20歳前後のガキがこの場所で、先が見えずに無為に時間だけをすりつぶすことができたことを、将来の私は感謝していると思います。
- 人間関係が希薄で他人に対する態度は非常に厳しく奇異なものを認めないような風土、雰囲気がある。
- 割と充実している。
- 卒業生がどこの企業にどれだけ就職したのかを、さらに、それはどこの研究室からの学生なのかを細かく記した冊子を配布してほしい。ちなみに、自分の専攻外の研究室のことも気になる。自分は電気系だが、機械系、情報系、さらには理学部の学生がどういう企業にいくのかも気になるし、就職後の自分の研究分野のビジョンの形成に役立つと思う。）
- 酒好きな人が多いことが少し気になる。
- 飽きてきた。
- 今までのところ順調に修学しているが、気を抜くと危ない。
- 充実させたいと思います。
- 今後ともよろしくお願い致します。
- 自宅通いのために、交通時間が長いと、少しきつい大学生活を送っている。そのせいで、サークルに入る時間がないのが残念に思えるが、現在、大学の教育指導以外に特に感じる場所がないというのが現状である。
- 楽しいです。勉強と部活動を思う存分できるので、とても楽しいです。
- 中学や高校の時よりも、格段に自由度が上がって楽しいです。
- 2回・3回あたりで不安におそわれますが、単位さえとれていけば何とか前向きになります。
- 99.8%満足です。
- 学業よりかはその他に重点を置いている学生生活になっている気がします。
- 不満はない。
- 家庭教師斡旋を積極的にして欲しい。
- 京都は意外と物価が高く生活しづらい面がある。現在の寮は問題点も多いので、早く新しい寮を作って欲しい。
- 何故、大学に行くのか、大学に行く必要が無い人生を選んでいる人も多いのではないかと思うが、京都大学の校風なら全ては自分次第で何とでも出来るので満足している。
- 日々、いろんな事に挑戦していきたい。
- 勉強のみならず、サークル活動なども充実していて良い。

- 「自由」という学風を知った上で入学しているが、その中で今まで押しつけられた勉強をしてきた者は何をすべきか分からずに迷うことになると思う。「自由」の中で学生が学生のためにイベント・課外活動をもっと行えるような環境づくりが必要でないかと思います。
- キャンパス内をもっと整理すべきだと思う（色んな意味で）。
- 悩みなし。
- 楽しいことがあまりない。
- 想像していたより大学生活は楽しいもので、大学に入って良かったと思えます。
- 人は自分が思うほど幸福でも不幸でもない。
- 夢を追っていけるようなカリキュラムというか、モチベーションを維持できる仕掛けが欲しいが…。これは各自の問題でもあると思う。
- 何がしたいのかを明確にしないと本当に時間が過ぎるだけになってしまう。
- 大学院の労働時間があり得ない。長すぎる。
- 自由が尊重されるのは非常に良い。
- 恵まれすぎている。
- 自分なりに楽しめている。楽しすぎて5年目に突入したが、それも長い人生からすればほどよいエッセンスになっていると思う。
- 就職活動のセミナーなど、イベントごとが水曜日に集中しすぎているように思います。必修授業や実験、演習の都合上、水・木・金の日中に空き時間がないので、興味のあるイベントなどが催されていたもなかなか参加できません。もっと日程を他の曜日にも振り分けて下さい。
- 工学部の男女比を何とかして欲しい。
- 一人暮らしは大変だ。
- 自由な時間が多いので、充実した生活を送れています。もう少し学校の授業があればいいのになと思います。
- 2回生半ばになって、ようやく軌道に乗ってきた。
- もっとークラスあたりの人数を減らす。
- 大学生活は人それぞれ自分で決めるものだと思います。だから、特に要望などはありません。
- 特に問題はなく、充実した大学生活を送れている。
- 満足している。
- 京都大学は自由な学風で知られているのですが、自由にさせ過ぎるあまり墮落してしまう学生が出てきてしまうのではないかと思います。特に自分のような、人にやらされないとできないタイプの人間には、厳しいカリキュラムを組んでいただいた方が後々のために良いように思います。
- 満足。
- 楽しい。
- 自分次第だなと思います。
- もう少し単位認定を厳しくしても良いと思う。
- 意外と自由がない。
- 正直、大学を辞めなくなる時が多々ある。転学してみたいと思っても、そうしたところで良い方向に向かうとも限らないと考えると何も出来なくなる。こういう時、誰に相談して良いかもいまいち分からない。大学入学してから生きてる気がしないんです。
- 充実させることができるかどうかは完全に個人次第。しかし、学生としての意識を持って、将来のことまで考えている人が少ないと思う。また、それにより本気で学びたい人にとってはあまり環境（周りの人々の様子・雰囲気）としてはあまり良いとはいえないような気がする。ただし、優れた教授がいることは大きな刺激となって良い。
- 周りの人達に思いの外学習意欲がないのが残念。
- スポーツフェスティバルなどイベントを増やして欲しい。
- なかなか充実している。
- 多少の変化はあると思う。
- 入学後の授業の印象や大学院見学などを通して、現在所属する学科では自分の希望する分野の勉強ができないと分かってきた。可能であれば、転学科することを希望している。
- 充実しているのだと思っています。
- 大学生の間は、人生でもアルバイト等の社会勉強のできる唯一の期間であると思うので、主要な授業を前期にまとめるのではなく、後期に分散させるなどして欲しかった。

(5) 各項目

□生協・食堂・購買など

- 吉田本部と遠隔地キャンパスとの差が大きすぎる。特に図書館や生協。宇治キャンパス生協・購買の閉店時間はせめてあと1時間遅らせてほしい。
- 生協施設が休日も開いていると助かるのだが。
- 専門書籍の生協が遠い。
- 生協も遅くまでやっていて満足していますが、屋の混み方をもっと改善してくださると嬉しいです。プリントアウトを自由に一定枚数までさせていただけるのは大変有難いです。
- 大学の施設というわけではないですが、生協の改装をして欲しいです。
- 生協は食堂が特に良いサービスを提供してくれて有難いと思っています。
- 生協組織（食堂、本屋、保険）などは充実していると思う。いつも恩恵にあずかっている。
- 普段、京大にいない学生でも、もっと京大の施設を利用しやすい状況になったらいいと思う。図書館の郵送等。生協も加入したが、何らメリットを感じなかった。
- 宇治地区などのサテライトキャンパスの福利・厚生施設を整備して欲しい。本部と比較して周辺の店が少ないので、生協ショップの営業時間を延長できるよう（採算上難しいかもしれないが）大学として、サポートしてほしい。
- 生協は近所の人々も利用するため、非常に混雑している。利用者数に見合った食堂の数を確保して欲しい。
- 桂生協が閉まるのが早い。アルコールを置いて欲しい。
- 生協のメニューをもっと多くして欲しい。
- 桂キャンパスに通っているのですが、夜になると生協ショップが閉まってしまい、食料が無い時、困っています。Cクラスターにもたくさん人がいるので、小さくてもいいので、Cクラスターにショップを設置して欲しいです。
- 生協ショップの営業時間の拡大を望む。中央時計台ショップは、特に開店時間が遅い。
- 生協の食堂のメニューの増加と、おいしいご飯を提供することについて、もう少し努力して欲しい。
- ロー棟に生協のコピーカードの販売機を置いて欲しい。
- 南部生協を夜9時頃まで開けて欲しい。南部の学生の食環境の充実を。
- 桂キャンパスのクラスター間格差を解消して欲しい。（Aクラスターには、生協・たばこ自販機・カフェ・パン屋があるが、Cには皆無）
- 宇治生協食堂のメニューが毎日同じものばかり。みんなうんざりしています。生協の割に値段がかなり高い。量が少ない。もう少し改善を!!
- 食堂・メディアセンターの休日開放or時間延長
- 食堂をキレイにして欲しい（特に南部）。食堂のメニューにめっちゃおいしいケーキを入れて欲しい。
- 食堂がやたら混む。
- 桂は非常に不便。食堂しかないところはとても不幸です。（土日は食べる所がない）
- 食堂を休日も平日と同じ営業時間にして欲しい。
- 食堂が夜に開いておらず、実験が遅くなった時に、食堂で食事が出来ないで、夜遅くまでやって欲しい。
- 購買や食堂の質や開店時間の違いが気になった（仕方ないことだと思うが）。
- 利用できる時間を長くして欲しい（食堂、購買等）。
- 食堂の営業時間、メニューの拡大を求めます。
- 食堂のスペースの狭さを感じます。混雑時には席に座れないなんてこともしばしばありますので、もう少し席が多くなればと思います。（北部食堂）
- 食堂にしても、とにかくピーク時の人が多いので困ります。
- 食堂の値段について、もう少し値段が下がらないでしょうか。全体的に下げられないなら、割安でvolumeのあるような食物のメニューが欲しいです。
- 南部食堂の営業時間を延ばして欲しいです。
- 食堂の数が少ない。（桂キャンパス）
- 桂キャンパスの研究設備は素晴らしいが、他の面においては計画の杜撰さが露わになっている部分が多い。カーブ終わりの出入口や、食堂の少なさ、無駄なスペースなど見直すべき所は多いと思う。
- 桂キャンパスは設備面で満足しています。土日の食堂が少し不便ではありますが、利用者が少ないので仕方ないと思っています。
- 桂キャンパスは吉田キャンパスに比べてやはりまだまだ環境が未整備で、不便を感じる事が多い。特に食堂の拡充、図書館、グラウンドの設置、駐輪場の整備を望む。
- 中央食堂の冷房故障が直らないのが大学の責任であるなら、故障したままになっていることに説明を頂きたい。
- 桂キャンパスの食堂の数が少ない。数が増やせないならメニューを充実させて欲しい。
- 冬期、北部食堂の扉付近は自動ドアが開くと寒い。省エネにもなると思うので（暖房費）何か改善できないものか。
- 学食がビビるくらいマズイです。あと、なんかイヤな臭いが食堂に充満してます。学食（ルネ・中央・北部・南部）をきれいにして、おいしくして下さい。同志社は組合員は税抜です。だから京大も同様にして欲しいです。
- 予算の関係上、難しいと思いますが、土日の図書館や食堂の営業時間を延ばしていただければ嬉しいです。
- 中央食堂から近くて綺麗なトイレが欲しい。
- 土日も使える食堂
- 食堂の混雑時の不便さはこの上ない。
- 食堂をなくして、大手チェーンの飲食業を導入してほしい。
- 食堂の混雑を解消して欲しい。

- ある程度は避けられないだろうが、普通に授業があるときの昼の食堂の混み具合はどうかにならないものだろうか…。
- 桂キャンパス内（Cクラスター）に、24時間営業の購買部はできないのでしょうか。
- ルネの開店が10時はあまりに遅い。
- 購買の時間延長、北部キャンパスの北側にも作って欲しい。せめて自販機を北側に設置して欲しい。
- 構内にもっと遅くまで開いている売店は必要です。（宇治）
- 桂キャンパスにこそコンビニを作って欲しい。
- 桂にコンビニを！
- コンビニがあると便利。福利厚生施設がもっと欲しい。（桂）
- 大学内の施設は十分ですが、大学近郊にコンビニetc（夜遅くまでやっている）を作って欲しい。（桂）
- 土日営業しているコンビニ等が大学内に欲しい。（桂）
- 桂キャンパスの坂が本当に不便。それだけは何とかして欲しい。コンビニ等、何か24h食料が手に入る施設が近辺に欲しい。
- 桂キャンパスの周りにコンビニが欲しい。
- 出来れば桂キャンパス内にもコンビニが欲しい。
- 桂にコンビニを作って欲しい。
- 学内ローソンの24h化を望む（もしくは時間延長）。
- 朝食を大学（桂）でとれるようにしてほしい。
- 日曜日などの食料がない。（桂）
- Cクラスター（桂）には、飲食等ができる施設・設備が無いので、どうかして欲しいです。
- 学食が狭い。
- 学食、物販をもっと安くしてほしいです（教科書等）。
- 学食が狭すぎて、混んでいる時間帯はなかなか席を見つけれられない。
- 喫茶ほくとや中央喫茶の営業時間が延びるとよいと思います。午後4時すぎ、5時すぎくらいに利用したいです。
- ローソンも北部や中央にあり、生協閉店後も開かなければメリットが少ない。
- 自動車免許割引（生協）をもっとよくして欲しいです。（本、CDは安いのに…）。生協のパンは、コンビニと同じ値段なのは改善してほしいです。
- コンビニが近くにあると良いのに…とは思いますが。（24時間営業の）吉田と異なり、生協以外の店が近くに全くないのは飽きます。
- 生協が開まるのが早すぎる。どこの研究室生が午後6時まででなんかに生協に行けるというのか？
- 南部生協を夜9時頃まで開けて欲しい。南部の学生の食環境の充実を。
- 生協はやるのが適当なことが多い。できないことをできると言って、後からやっぱ無理とかふざけています。
- 他大学より学食が充実していて、本、バイク、自転車等も

生協で買えるのが良い。

- 食堂が狭い。混みすぎる。
- 昼休みに食堂が混雑するのが少し疲れます。
- 中央食堂のメニューが少ないので増やすべき。
- 食堂の価格が高く感じる。もう少しメニューの価格を下げてもらえればありがたい。
- 学食がもう少し混雑しなくなれば嬉しいです。
- コンビニをあと少し増やしては？
- 桂にコンビニを作って欲しい。
- コンビニが欲しい。

□図書館

- 吉田本部と遠隔地キャンパスとの差が大きすぎる。特に図書館や生協。
- 図書館の開館時間を長くして欲しい。
- 普段、京大にいない学生でも、もっと京大の施設を利用しやすい状況になったらいいと思う。図書郵送等。
- 図書館の開館時間を平日・祝休日に問わず9:00～23:00くらいまで長くしてほしい。アメリカの州立大学に見学に行ったところ、毎日午前0時までやっていた。休日に17:00までだと、学部生は勉強する場所がない（もしくは自習スペースだけでも提供してほしい）。
- 施設（特に図書館・メディアセンター）の休日の利用時間を延長してほしいです。
- 図書館は平日朝8:30頃から新聞の閲覧だけでも開いて欲しい。土・日・祝も平日並みに開けて欲しいです。
- 図書館の利用について、借りられない図書がまだまだ多い点、月末に閉館して困ってしまうこと、書庫図書が多少カビた臭いのする点など、気になる点があります。
- 図書館について看護系の文献が少なく苦労しています。また、開館を24時間にさせていただきたいです（閲覧室だけで良いので）。
- 附属図書館は非常に充実しており、使い勝手が良いのですが、医学科・保健学科は蔵書が少なく、また日進月歩の分野であるのに、新しい書籍が入らず、学業に支障があります。特に、保健学科は4年制になって、今後の医療の一翼を担う優れた人材を育てる責任があると思いますが、現在のような学習環境では自学自習も大変困難です。図書室の充実を希望します。
- 桂キャンパスは吉田キャンパスに比べてやはりまだまだ環境が未整備で、不便を感じる人が多い。特に食堂の拡充、図書館、グラウンドの設置、駐輪場の整備を望む。
- 予算の関係上、難しいと思いますが、土日の図書館や食堂の営業時間を延ばしていただければ嬉しいです。
- 図書館にマンガもしくはライトノベルを置いて下さい。
- 遅くまで図書館・メディアセンターが使えるようにして欲しい。
- 中央図書館をはじめ、各所に様々な図書館があり便利だと

思います。

- 図書館の休日の開館時間延長！
- 総合図書館をはじめ、薬学部にも、薬学専門の書物をたくさん有する図書館があり、利用しているのですが、そのところは優れていると思います。
- 学部図書館の資料充実→シラバス記載の教科書・参考書を置いてくれると調べものをする時に役立ちます。
- 学部の図書館を20:00ぐらいまで開放してほしい。
- 桂は非常に不便。大学に図書館がないのも信じがたい。交通の便は諦めたとしても。
- 図書館を深夜までOPENしてほしい。
- 他学部の図書館を時間・貸出制限ともに、もっと利用しやすくしてほしい。
- 図書館を24時間開館してほしい。
- 情報学研究所図書館の利用時間を長くしてほしいです。
- 図書館においてある論文の量を増やしてほしい。
- 薬学部の図書館のセキュリティを強化してほしい。たまに本が無いことがあります。
- 他学部の図書館ではコピー機が使えない（専用カードが必要）のが不便だと感じる。普通のコピーカードも使用出来るようにしてほしい。
- 図書館が便利です。いろいろな専門書があるし、周りも勉強したりして空気が良いです。
- 図書館の開館時間を延長してほしい。蔵書を充実させてほしい。
- 本年度は所属する学部の図書室が改築工事だったために、閲覧が制限され不便だった。本来なら利用できるはずのせっかくの蔵書を見ることができないのは苦痛だった。
- 宇治地区の図書館を充実させて下さい。本の内容が偏っています。新聞や雑誌ももっと豊富をお願いします。
- 図書館を24時間OPENにしてほしい。
- 各図書館について所属に関しての利用制限の垣根を低くしてほしいです。
- 自主ゼミなどを行いやすいように1日中利用が可能なスペースや図書室があれば良いと思う。
- 図書館はよく利用していますが、試験期間の前になると、人であふれ、快適とはいえない状況だと思えます。
- 図書館の充実をしてほしいです。
- 図書館にある本は充実している。論文もWebからダウンロードできることが多いのには非常に助かっている。
- 校舎の老朽化などは、それ程問題ではないと思います。図書館や諸施設の利用時間延長など、教育・研究に直結したサービスの拡充を求めます。
- 医学部の図書館が工事中で別テナントで臨時開放されていますが、土日ではなければ行くこともままならないので、ご考慮いただきたいです。
- 図書館の開館時間が短いと思います。
- 図書館を24時間制にしてほしい。
- 各部局の図書室も附属図書館と同様に、土日開館して欲しい。学生アルバイトで対応できないか。
- 図書館や電子ジャーナルは便利なので、有難い。
- 桂キャンパスの設備の充実を希望する。特に図書館が早急に必要であると思う。
- 桂にも吉田なみの規模の図書館が欲しい。
- 桂キャンパスがあまりにも不便。1冊の本を借りるために何回吉田キャンパスまで行かねばならなかったことか。本部キャンパス内でも学部ごとに図書館が分かれているのでとても不便。
- 桂キャンパスにある程度の規模（総人の図書館など）の図書館が欲しい。片道1時間かけて、必要な書類を探しに行くのは辛いです。
- 桂キャンパスに図書館の設置を希望します。
- 桂キャンパスの図書館を早く建てて欲しい。
- 桂キャンパスに図書館を。地域の住民への配慮はよく出来ているようですが、研究にとって必要な設備はまだ不十分と感じます。
- 学部生の頃、附属図書館の開館時間がもっと遅ければいいのと思っていた。
- 良い。特に書籍、雑誌、論文の量はすごいと思う。
- 桂にまともな図書館、書店が欲しい。
- 施設・設備の規模には満足しているが、卒業後も図書館などの施設が利用できるようなサポート体制が欲しい。また、部分的には、図書館開館時間の延長や、コピー機増設などを行って欲しい。
- アメリカの大学のように、図書館を24時間開放してほしい。
- 附属図書館以外の図書館システムがいい加減すぎ！OPACに表記されている本がないなどの不備が目立つ。
- 文学部図書館の閲覧室への入室が17:00までというのは、少し早過ぎかと思えます。5限目以降も入室できれば、便利かと思えます。また、コピー機の台数も少ないかと思えます。
- 図書館についてですが、移動棚は研究の効率・広がり著しく失わせると思えます。もっとも、スペースの問題で仕方ないとは思いますが。
- 以前在籍していた首都圏の私立大と比べると、全体的に明らかに見劣りする。特に、よく利用する総合図書館に限っては、新聞・図書も少なく、休憩スペースも狭く、冷房設備は暑くなってきてもなかなかつかず、窓を開けていると虫は入ってくるし、外の人声や音楽もやかましくて、まともに勉強出来ない。
- パソコンの利用状況が悪い。プリンタで要領の大きいpdfファイル等を数十枚に渡って一気にプリントアウトする人がよくいる（附属図書館、メディアセンター辺り）。恐らくパソコンに拙い人が多いようですが…。あと、パソコン室の私語が多い。附属図書館3Fのメディアコモンですが、ヘッドホンの音量が大きくて音漏れしている人がよくいます。周囲の人が音楽が聴けなくなる。

- 元国立だから仕方ないのかもしれませんが、施設の利用時間の延長や図書パソコン等のFreeに使えるツールの充実がいまいちだと思います。
- 図書館のプリンターが少ないことと、土日の使用が出来ないために大変不便を感じています。是非とも台数を増やして欲しいです。
- 桂キャンパスの図書館の拡充。
- 桂キャンパスには、新しく記念館が2つ建設されましたが、図書館や体育館を共に建設してほしいです。
- 図書館の本の取り寄せにかかる時間をもっと短縮してほしい。
- 図書館（特に文学部書庫）の開館時間をもう少し延ばしてほしい。
- 文学部図書館の開館日数・時間は、改善してほしい。
- 概ね満足しているが、図書館の休館日（祝日などで規定日がずれる場合など）の情報を学生にもう少し伝わりやすくしていただけるとありがたいと思う。
- 図書館について、学内に本があるのに研究室所有とのことで全く借りることのできない本（雑誌）があるのは困る。要望があればすぐに取り寄せられるくらいのシステムが欲しい。
- 各図書館ともに、附属図書館なみに開館時間・期間を増やしていただきたい。
- 文学研究科図書館の利用時間を延ばして下さい。
- 附属図書館が暑すぎて、勉強に集中できない。図書館の一部でもよいので、強冷房エリアを設けてほしい。
- 理学部図書館も18:30くらいまで開室していたら便利だろうと思います。
- 図書館の開館時間が短すぎる。
- 図書館の開館日、時間をもっと増やして欲しい。
- 今でも図書館の蔵書は充実しているが、これからもそれは続けて欲しい。読みたい本や資料・史料を自分で買ったり相互利用で取り寄せたりするのは結構お金がかかるので…。
- 学部図書館の開放時間をもう少し長くして欲しい。
- 図書館、夏は場所によって結構寒かったです。
- 図書館で飲食する人を厳しく取り締まってほしい。
- 図書館の本の所蔵冊数を1冊あたり、もう少し増やしてもらえると有難いです。あと研究室にしかない本を附属図書館にも1冊くらい置いてもらえると、1回生の個人の趣味でも気軽に借りることができて嬉しいのですが…。
- 附属図書館の学習スペースをもっと広くして欲しい。文学研究科図書館の漢籍が置いてある本棚には書見台があった方がよい。
- やはり“京大”ともなるとPC環境や図書館など設備が充実していて、さすがだな…と快適に感じています。
- 予算の関係上、難しいと思いますが、土日の図書館や食堂の営業時間を延ばしていただければ嬉しいです。
- 図書館、メディセンなど、とても充実していて、満足して

- います。
- 図書館は休まないで欲しい。
- 図書館などの時間延長や各学科ごとに自由に使える自習室。（工学部）
- 附属図書館の蔵書の種類や配置がよく分からない。検索もいまいち使いこなせない。
- 図書館やメディアセンターのパソコンは、ほぼ全く使っていないのだが、機能・設備自体は優秀であり、このままでも十分問題ないように思われる。
- 附属図書館が土日休日に18時まで延長してほしい。
- 図書館の利用可能な時刻をもっと遅くまでにして欲しい。
- 図書館の開館時間（9:00～）をもっと早めて欲しい。1限目前に少し新聞や本を読みたいと思っている人はたくさんいると思う。
- テスト期間になると図書館などの自習スペースが人でいっぱいになる。
- 良い。図書館に最近の作家の小説があると嬉しい。京大出身なのだから、森見登美彦の作品を置いてもいいと思う。
- 図書館のパソコン室も台数がそんなに多くないので少し不便です。
- 図書館を遅くまで開けて欲しい。教室の机が小さくて、大きい教科書等が開けない。
- 吉田の図書館で借りた本を桂で返せるようにしてほしい。又、吉田の本を桂に取り寄せたい。
- 図書館での飲食禁止を徹底してほしい。
- 図書館の座席を増やして欲しい。
- 土日の図書館の利用時間を長くして欲しい。
- インターネットで閲覧できる論文雑誌がさらに増えると研究が行いやすくなります。
- 文学部閲覧室の書庫を5限後も一定時間開放してほしい。（金曜日だけでも、～18:30までとか）。金曜5限で必要性の生じた資料を月曜朝9:00まで借りられないのは辛い。
- 図書館の蔵書増加を希望します。
- 図書館の改修がよく行われているが、その間、長期間、図書を使えないのでは研究に支障が出る。何らかの対策があった方がよい。

□学内工事

- 現在、工事中のところが多く、非常に不便です。
- 常にどこかからの施設が改修工事されている気がして、キャンパス内にいて落ち着かない感じがする。平日は工事をしないで静かな中で生活したい。
- 工事が多い。入学してから絶えずどこかで工事が行われており、不便、迷惑。もううんざりだ。
- 本年度は所属する学部の図書室が改築工事だったために、閲覧が制限され不便だった。
- 改装工事の代替スペースの明確な確保。
- 医学部として同じ枠組みで運営されているはずなのに、保

健学科が医学科の教室を使用できないのは、おかしいと思います。特に、今年は耐震工事で校舎が一切使用できないのに、医学科の教室ではなく、大学外の施設で授業を行っています。同じ授業料を払っているのに、この扱いの差は如何なものでしょうか。改善を強く望みます。

- 保健学科工事中の代替教室を一ヶ所にまとめて設けて欲しい。
- 工事はできるだけ長期休業中にやって欲しい。
- 医学部の図書館が工事中で別テナントで臨時開放されていますが、土日では行けず行くこともままならないので、ご考慮いただきたいです。
- 保健学科の施設が悪い。工事中で使えない教室が多すぎる。駅から遠い。
- 複数のキャンパスで工事が同時に行われていて、移動が不便。
- 耐震工事の期間が長期に及び、研究活動に支障を来している。医学部のキャンパスを共有するなど、もう少し柔軟な対策が求められる。
- 現在、大学では耐震補強工事を多くの建物で行っています。耐震化工事は必要なことであるとは言ってもありませんが、在学している学生・院生に配慮した計画をしていただきたいと思います。工事に伴う騒音対策、また、移転計画をしっかりと考えた工事計画を立てていただきたいと思います。工事自体は大学の将来にとって重要ですが、限られた年月を大学で過ごす学生一人一人に対して、良好な研究環境を提供していただきたいと思います。
- 工事がうるさすぎです。なんとかしてください。(宇治キャンパス)
- いつも工事中。
- 特にないけど、いつでも学内のどこかが工事中なので少し悲しい。
- 研究所の耐震工事に伴う引越は苦痛であったが、仕方がない。
- キャンパス内の工事が多い…。工事中はすごく不便です。(お手洗いがいいです。現在、耐震工事中)
- 耐震工事の計画ミスによる現場の混乱(具体的に言えば、研究環境の悪化、職員への過剰な労働、負担の偏在)はそもそも現場無視の官僚主義的意志決定機構に起因する。
 - 理事は引責辞任するべきであった。また総長も「カレー」だなんだより、この耐震工事計画に対する現場の「叫び」に耳を傾けるべきだ。学生として、研究環境の悪化への不満は勿論だが、顔見知りの職員が心労に苦しむのはあまりに辛い。総長はマネージメント管理者として「カレー」より耐震工事計画の検討に目を向けるべきでなかったか？自分は本学の「滝川事件」を誇りにしている。しかし、今次の耐震工事計画で露見●●●は何だ。悔しくて、恥ずかしくてたまらない。恐らくこんな声は「カレー」に関係していないから、総長には届かないだろう。しかし、心労に

苦しんだ職員を思うと悔しく辛い。こうしたことが届かないことは中間管理職から言い渡されている。だから、そのうち総長室に「カレー」をぶつけるつもりである。まあ、この予告も伝わらんだろうから、総長もびっくりしてくれるだろう。楽しみだ。

- いらぬ機能のものはないけど、デザインが最近のはダサイ。もっと軽々しくないのがよい。あと、耐震性工事の仮移転ではものすごく迷惑した。全学的なビジョンと進行計画で臨んでほしかった。各部局の予算・計画の調整をするはずの大学本部は何をやっているのかと言いたい。
- 情趣があり、歴史を感じさせる建造物を壊し、ありふれた箱に焼き直す耐震工事が盛んであるが、建物ではなく、人こそが大学を作るはずである。建物よりも人材に投資してもらいたい。改修費を授業料を減額することに回したり出来るはずである。
- 工事が多すぎる。改築と同時に、味のある空間が消えていくのは悲しい。京大が全部綺麗になったららしくないです。
- 工事による通行制限についてもう少し考えて欲しい。特に吉田南は通れない所があると不便でしょうがない。共北→4共の道が完全に閉ざされることがある(工事中トラックの存在等による)のは勘弁して欲しい。
- 今年、大規模に補修工事があるようです。
- 工事中が多い。
- 耐震補強工事などを行っている建物が多くあるが、建設業者には接着剤などに含まれる化学物質はなるべく使用して欲しくない。
- 耐震性が心配である。
- 最近、建物の改修が多いが、残せるところはできる限り残して欲しい。
- 古いところと新しいところが混在している。伝統も守って欲しいが、サークル棟などの建て替えの話は早く進めて欲しい。
- 建て替えが大学内で行われているが、それにあたって引越作業に1ヶ月費やした。3月にはまた引越作業を行わなければならない、今年は12ヶ月のうち2ヶ月を引越にあてることになり、その被害を受けた大学院生の事をどう考えているのか知りたい。今年だけでも授業料減額などの対応があっても良いのではないかと思う。
- 戦前からの伝統的な建築が次々取り壊されて、こざれいなだけの校舎にどんどん建て替えられている現状に不満。お金をかけてでも外観だけ残すとか、うまく移築するなどできないのでしょうか。昔、所属していたサークルの部室が入っていた吉田寮脇の立派な明治の洋館も取り壊す計画があるようだが、何とかならないのでしょうか。
- 新しい施設が増えているが、必ずしも便・勝手はよくない。桂の時計塔(?)など不要な設備も多い。また、三高時代からのA号館を建て替えるなどしたが、歴史のある建物を積極的に保存すべき。

- 教育学部の校舎を改築又は増築してほしいと思います。今のままでは手狭です。
- 改築がどんどん進み、きれいな建物が増えている。利用者である学生にとってはとても有難いのだが、京都大学の伝統を無くさないようにしてほしいです。全てをキレイにするのではなく、メリハリのある整備を希望します。
- きれいな建物はとてもきれいだが、ぼろい建物は汚すぎる。徐々に良いので、全ての建物を改築etcで、キレイにして欲しい。
- 充分だと思います。強いて言えば、改築したりしても、業者がダメだからか粗いと思います。
- 改築しているところが多すぎるがとても快適。
- 今どんどん改築され、補強がなされているので要求はないです。
- 改築がんばってください。
- 古い建物を補強して使うのも結構ですが、本当に安全面で問題がないのか疑問です。近くに断層もあるようですし、移転も含めて建物を新しくしていくことを検討するべきではないでしょうか？
- 校舎の老朽化などは、それ程問題ではないと思います。
- 老朽化している部分は早く直して欲しいです。
- 整っている。老朽化の目立つ部分もあるが、それも歴史の一つ。
- 10号館など壁や床がぼろぼろだったり、トイレが汚いところが多すぎる。
- 適度に古くさい建物が残っている方が趣が感じられるかと。ただ、やはり木の椅子は痛い。
- 歴史ある建物は、簡単に壊さないで欲しいです。
- 建物が古いのもその伝統ゆえなのでしょうが、そこはあまり許容できませんね。私大なんかには比べると人にも紹介しづらいです。
- 建物の外観が全体でバランス取れていないように思います。吉田は。
- 学舎の工事等が至るところで行われていて、騒音に苦しみます。もう少し計画的にされた方が良かったのではないのでしょうか。
- 建物の建て替えや耐震工事はもっと事前に伝えていただきたいです。
- 耐震性が心配なので、京大の建物内には居づらい…。
- 建替問題について、こうなった意味がわからない。学科ごとに利益、不利益が生まれており、なぜもっといい方法がなかったのか。学生がいないがしろにされすぎていると感じる。学科ごとにマネジメント専門の教員を置くべき。先生方も研究の片手間ではうまく運ぶはずがない。

□トイレ・洗面

- 入学した頃に比べ、汚いトイレがほとんど無くなったのは非常に嬉しい。

- トイレがきれいなのが嬉しい。
- 近年どんどん学内の施設が近代化されて、トイレがきれいになったり、レストランなどが学内に出来たりと非常に便利・快適になったと思う。
- トイレをきれいに整備してほしい。場所により差があるすぎる。
- 中央食堂から近くて綺麗なトイレが欲しい。
- トイレがきれいなのが嬉しい。
- 女子トイレが男子トイレより少ないのは不公平だと思う。
- 10号館など壁や床がぼろぼろだったり、トイレが汚いところが多すぎる。
- トイレの美しさは国内屈指のレベルだと思われます。まさか学校でウォシュレットが使えると思っていませんでした。お陰で僕のお尻も美しく保たれています。
- 私が入学後、トイレもきれいになったし、快適です。
- 全てのトイレに石鹸を置いて欲しい。
- 学部のトイレの個室の荷物掛けの位置が高すぎて、ジャンプしないと掛けられないので不便です。(法学部)
- 女子トイレの荷物掛けの位置が高すぎるどころがある。(法学部)
- トイレがきれいになって嬉しい。
- トイレがきれいで好きです。
- 法経館などのトイレの荷物掛けの位置が高すぎる
- 一部施設のトイレ環境は改善して欲しい所がある。
- トイレに石鹸が無かったり、ゴミ箱の数が少ない点には不便を感じる。
- トイレが綺麗で嬉しい。
- いいと思います。トイレもきれいだし。
- トイレは大いにきれいになってくれていい。
- 吉田南キャンパスのトイレ等、手洗い場にちゃんと石鹸を用意して欲しい。
- トイレがきれいになった。課外活動建物のトイレもきれいになるといいなと思う。
- トイレには石鹸を必ず置いて欲しい。
- トイレは全体的にキレイで良いです。でも、石鹸をつけて欲しいです！
- 年々良くなっているように思うが、トイレ（特に吉田南キャンパスと図書館）が少し汚い気がする。学生の使い方も良くない。
- トイレにハンドソープが欲しいです。
- トイレについては、きれいなところが増えてきていて嬉しいです。
- 工学部をもっと女性に利用しやすいようにしてほしい。特に8号館のトイレ。
- トイレがきれいなのが良い。
- トイレとは別に手洗い場を設けてもらえると嬉しいです。
- 工学部8号館のトイレは不潔感と異臭がする。
- 工学部なので仕方がないと思いますが、全てのフロアに

女子トイレも作って欲しいです。

- 物理系校舎1階のトイレにもウォシュレットをつけて欲しい。
- トイレが清潔なのが非常に嬉しい。
- 法学部の洗面所にも経済学部のように洗剤を置いていただきたい。
- 吉田南の事務室のある建物のように、洗面スペース（みたいなもの）を増やして欲しいです。トイレで歯磨きには抵抗があるので…。
- キャンパス内の工事が多い…。工事中はすごく不便です。（お手洗いがありません。現在、耐震工事中）
- 欲を言うと、お手洗い（特に体育館の外）がもう少しきれいになると嬉しいです。
- 水回りをもう少し整えていただきたいです。

□メディアセンター・ネット環境

- 施設（特に図書館・メディアセンター）の休日の利用時間を延長してほしいです。
- 食堂・メディアセンターの休日開放or時間延長
- 遅くまで図書館・メディアセンターが使えるようにしてほしい。
- パソコンの利用状況が悪い。プリンタで要領の大きいpdfが居る等を数十枚に渡って一気にプリントアウトする人がよくいる（附属図書館、メディアセンター辺り）。恐らくパソコンに拙い人が多いようですが…。あと、パソコン室の私語が多い。附属図書館3Fのメディアコモンですが、ヘッドホンの音量が大きくて音漏れしている人がよくいます。周囲の人が音楽が聴けなくなる。
- 元国立だから仕方ないのかもしれませんが、施設の利用時間の延長や図書パソコン等のFreeに使えるツールの充実がいまいちだと思います。
- メディアセンターや体育館などの利用時間を長くして欲しいです。
- 図書館、メディセンなど、とても充実していて、満足しています。
- メディアセンターで暇つぶししている人に混雑時は席を譲るように呼びかけて欲しい。
- メディアセンターのPC使用の開始時間を早くして欲しい。
- パソコンが使える場所をもっと増やして欲しいです。メディアセンに行ったら混んでいることがよくあります。図書館のパソコン室も台数がそんなに多くないので少し不便です。
- 薬学部のパソコン室と、その前にある机などが置いてある所にクーラーを設置して欲しい。
- 図書館のパソコン室も台数がそんなに多くないので少し不便です。
- 24時間使える研究室・パソコン・実験装置など、充実しており、研究生生活において不満はありません。
- 法経館や法科大学院のパソコン室設置

- パソコンの数を増やして欲しい。
- 大学のメールの不具合など、ネットワークに関する問題を解決、そしてまた起こらないようにして欲しい。
- 私自身が20年前に過ごした頃を考えると、大変充実していると思います。ただ、ネット環境（無線LAN）は改善の余地があると思います。
- やはり“京大”ともなるとPC環境や図書館など設備が充実していて、さすがだな…と快適に感じています。
- ノートPCを持ち歩くので、やはり無線LAN環境を整えて欲しいと思います。
- PC室を使えるようにして欲しい。（ごく少数のマナーを守れない人がいることで、全員がPC室が使えなくなる不利益を被る、というのはおかしい）。
- PCプリンターに関して、自分で紙を持参させるくらいなら、予め料金制にしていれば良いと思う。
- 無線LANを自由に使えないとは思ってもみなかった。あり得ない事である。又、WORD等ソフトが設置されているPCが少ない事、何より学生生活の中心となっているLS棟にPC自体数えるほどしかないのは不便で仕方ない。台数を増やして欲しい。又、自習室に専用デスクを設置する事を検討して頂きたい。他大に比べて設備が弱い点、大変残念に思い、後悔すらしている。最低限24時間開放して欲しい。
- やはり“京大”ともなるとPC環境や図書館など設備が充実していて、さすがだな…と快適に感じています。
- 学内全域での無線LAN化をお願いしたい。今はまだ利用可能域が少ないし、時間も限られている。
- 無線LAN環境を拡充してもらいたい。
- 自習室を設けてほしい（LAN整備）
- 宇治地区のLANの自由に使えるスペースを望みます。
- 図書館やメディアセンターのパソコンは、ほぼ全く使っていないのだが、機能・設備自体は優秀であり、このままでも十分問題ないように思われる。
- メディアセンターの端末を24時間利用できる施設を作って頂けないでしょうか。
- メディアセンター（南）のテレビは無駄です。お金掛けるご間違ってます。

□課外活動（クラブ・サークル）

- 医学部のクラブ用に体育館が欲しいです。
- ボックスの数を増やして欲しい。
- 体育・運動用施設の老朽化が著しいのに、修繕が行われないので困っている。
- 体育会への支援
- 大学の体育館等をサークルにも利用させて欲しいです。
- 体育会系ばかりが体育館を占有してうざったい。俺らはいつも外の体育館金出して借りてるのに、もしかして学校体育館は有料で金出して借りてるんですか？（非体育会系運動サークル）

- もっと体育会の施設を充実させてほしい。
- 体育会のアーチェリー部の練習場が狭い。
- 文化ホールの必要性を感じません。BOX棟改築などの情報が充分に行き渡っていないように感じました。
- 吉田南のテニスコートの一部に穴が空いているので直して欲しい。
- 吉田グラウンドの施設をさらに充実させて欲しいです。
- 課外活動施設・設備が（私大ほどとは言いませんが）もう少し充実していて欲しいです。
- 課外活動・サークル活動のための設備を充実させて欲しいと思います。
- 夏期休業中に大学の教室を借りたかったが、「顧問教授が必要」とのことでした。もっとサークル活動や自習者に開放してもよいのでは。
- 古いところと新しいところが混在している。伝統も守って欲しいが、サークル棟などの建て替えの話は早く進めて欲しい。
- 吉田南キャンパスの教室が一部サークルに（適切な手続の下で）開放されたのはとても嬉しい事です。このような施設が今後増えると嬉しく思います。
- サークルの活動環境が悪すぎる。構内が狭いので仕方ないが。
- 学生用掲示板を増やすなど、サークル宣伝方法を充実させて欲しい。黒板への書き込みを認めて欲しい。
- サークルの施設の使用時間にとても寛容なのがよいと思う。BOX建て替えなどもあるが、その後も今と変わらない自由さが欲しい。全体的に学生の活動に対して寛容であるのがいいと思う。
- サークルなどで道具を保管する場所などの提供があると助かります。
- サークル活動で使える部屋を増やして欲しい。
- 課外活動、勉強、アルバイトの両立に苦労している。特に休暇中はいろいろな事ができる時期であるにも関わらず、課外活動一本になってしまい、終わってみるといつも後悔しがちである。体育会に所属しているため課外活動に時間をとられるのは承知の上とは分かりながらも今しか出来ないことに思い切って取り組めたら充実した大学生生活が送れるのと思う。
- 授業を多くとると、他の活動がほとんど出来なくなる気がします。（他の活動の開始時間はたいてい4限終了時からなので）又、一回生前期のうちに何かサークルや部活に入るなどの活動をしないと、後からではものすごく入りにくい（情報が少ない・勧誘もない）です。
- 「自由」の中で学生が学生のためにイベント・課外活動をもっと行えるような環境づくりが必要でないかと思います。
- サークル活動に対して、法人化以降、年々厳しい（教室利用など）状況が続いている。もっともっと学校と学生が対話を持つ場を設けてほしい。

- サークルに入ること、先輩や同級生とのつながりが出来て、大変良かった。
- サークルのやりすぎは良くない。

□課外施設（一般）

- メディアセンターや体育館などの利用時間を長くして欲しいです。
- 体育館の地下1階にコバエが大量にいる。
- 体育館を開放してほしい。
- 桂キャンパスには、新しく記念館が2つ建設されましたが、図書館や体育館を共に建設してほしいです。
- 体育館を一般開放している時間があると嬉しかった。
- 総合体育館→シャワー室が汚い。
- 昼休みに若しくはそれ以外にも自由に使えるグラウンド・体育館を増やして欲しい。研究室にいと、サークルなどをする時間が取れないので、運動不足になり、昼休み等に運動したくなる。しかし、気軽に使えるところがない…。
- 運動を気軽に出来るように体育設備も自由に使えるようにして欲しい。
- 体育館、プール等、サークル、クラブなどに占有されてしまっていることが多く、使用しにくい面も（使用率から考えれば仕方ないことですが）。
- 図書館の充実、運動などのリラクゼーション施設の充実（体育館の地下はとても一般の人が利用できる代物ではない）をして欲しいです。特に、後者は東京大学の本郷の施設を見習って欲しい。
- 体育施設がどの程度使えるのか（ジムの開放など）について、あまり知りません。もし使用できるのなら、大いに広めていただきたいです。
- 運動施設・設備等をすべてのキャンパスで充実させて欲しい。ただでさえ運動不足になるのに、体を動かすところがないと、なおさらです。
- グラウンドや体育館をもう少し自由に使えたらいいかなと思います。
- 宇治地区に学生や教職員が自由に使える体育館が欲しい。欧米の大学のように福利厚生施設の充実を求む。研究所の生活は体を動かせる場所が少なく健康に悪い。身近にそういった施設があると、研究の間の短い時間で体が動かせる。
- 体育館、プール、GYM施設の充実を望む。体育会以外にも院生・教職員が利用出来る環境を。
- 桂に新しく出来た体育館はあの大きさで桂の学生で運動したい人みんなが利用できるか疑問です。小さいと思います。
- 桂に体育館が出来て嬉しい。
- 体育館・テニスコート・グラウンドをもっと自由に使えるようにして欲しい。
- 桂キャンパスには、新しく記念館が2つ建設されましたが、図書館や体育館を共に建設してほしいです。

- グラウンドや体育館、および道具などについて昼休みや放課後に自由に使用が出来るようにして欲しい。
 - 課外活動施設（グラウンド・体育館・プール等）の拡充
 - 体育館がもう1つ欲しい。
 - 屋内プールが欲しい。
 - 夏期にプールを開放されていると思いますが、平日の12～14時では都合がつかません。
 - 冬でもプールを利用できるようにして欲しい。夏期は定期的に運動（プール）することができず、運動不足になりがち。
 - 屋内プールを作って欲しい。
 - 吉田・宇治にはテニスコートがあるのだから、桂にも作って欲しい。
 - テニスコートを部活・サークルの人以外でも使えるようにしてほしい。宇治キャンパスのように。
 - テニスコートをみんなで利用出来るようにして欲しい。
 - テニスコートを一部のサークルが独占するのは間違っている。個人でも手続をすれば使えるようにするべきだ。
 - 桂キャンパスは吉田キャンパスに比べてやはりまだまだ環境が未整備で、不便を感じる事が多い。特に食堂の拡充、図書館、グラウンドの設置、駐輪場の整備を望む。
 - 充実していると思います。ただ、グラウンドが狭いときがありますので、昼休みの時間は部活、サークルが使用しないようにしていただきたいです。
 - 桂キャンパスに屋外グラウンドを作って欲しい。
 - スポーツ等、レクリエーション用の施設を増やして欲しいです。
 - 宇治キャンパスに運動のできる施設を作って欲しい。
 - 運動しやすい環境を整えて欲しいです。（特に、団体に所属していない人にとって）
 - 桂に運動施設を作るべきである。
 - 学生が自由に使用できるジムはあるのですか？
 - 知人のアメリカ人留学生がスポーツジムの様な施設が絶対欲しいと言っておりました。
 - スポーツジムが各キャンパスに1つずつくらいあっても良いと思います。
 - スポーツジムを開放して欲しい（桂キャンパス）。一部の人間が一部の時間のみ使用できるのは非常にもったいない！
 - スポーツ施設の開放
- 宇治・桂・隔地キャンパス
- 吉田本部と遠隔地キャンパスとの差が大きすぎる。特に図書館や生協。宇治キャンパス生協・購買の閉店時間はせめてあと1時間遅らせてほしい。
 - 現在、農学部に所属しているのですが、研究室が宇治と本部に分かれており、不便を感じています。
 - 宇治地区などのサテライトキャンパスの福利・厚生施設を

- 整備して欲しい。本部と比較して周辺の店が少ないので、生協ショップの営業時間を延長できるように（採算上難しいかもしれないが）大学として、サポートしてほしい。
- 工事がうるさすぎです。なんとかしてください。（宇治キャンパス）
- 宇治地区に学生や教職員が自由に使える体育館が欲しい。欧米の大学のように福利厚生施設の充実を求む。研究所の生活は体を動かせる場所が少なく健康に悪い。身近にそういった施設があると、研究の間の短い時間で体が動かせる。
- 宇治生協食堂のメニューが毎日同じものばかり。みんなうんざりしています。生協の割に値段がかなり高い。量が少ない。もう少し改善を!!
- 吉田・宇治にはテニスコートがあるのだから、桂にも作って欲しい。
- 宇治地区のLANの自由に使えるスペース、お弁当食べるスペースを望みます。
- 宇治地区の図書館を充実させて下さい。本の内容が偏っています。新聞や雑誌ももっと豊富にお願いします。
- 宇治キャンパスに運動のできる施設を作って欲しい。
- 構内にもっと遅くまで開いている売店は必要です。（宇治）
- 今現在、宇治キャンパスにいますが、こんだけ何も施設がないのに授業料とかが本部の人と一緒にするのはせこいと思います。
- 宇治キャンパスに運動のできる施設を作って欲しい。
- いいものが数多く揃っていると思うのですが、宇治キャンパスにいたのでほとんど利用したことがありません。宇治キャンパス内の設備の充実、各設備のwebで利用できるサービスの充実、またその積極的PRを望みます。
- 宇治キャンパスの液体窒素のくみ出しをもっとしやすくしてほしい。宇治キャンパス←→本部のバスの運行本数を16時半以降に増やして欲しい。
- 宇治キャンパスですが、近隣にあまり店がなく、非常に不便です。ATMなども利用できれば便利ですが、それありません（以前ATMあったのですが撤去？）。
- 宇治から桂キャンパスに行って空いた時間にいる場所がない。学内バスが少ないのと、混みすぎ。
- 宇治キャンパス内の様々な施設の拡充を希望します。
- 桂キャンパスには、新しく記念館が2つ建設されましたが、図書館や体育館を共に建設してほしいです。
- 桂キャンパスは吉田キャンパスに比べてやはりまだまだ環境が未整備で、不便を感じる事が多い。特に食堂の拡充、図書館、グラウンドの設置、駐輪場の整備を望む。
- 桂生協が閉まるのが早い。アルコールを置いて欲しい。
- 桂キャンパスに通っているのですが、夜になると生協ショップが開まってしまい、食料が無い時、困っています。Cクラスターにもたくさん人がいるので、小さくてもいいので、Cクラスターにショップを設置して欲しいです。

- 桂に新しく出来た体育館はあの大きさを桂の学生で運動したい人みんなが利用できるか疑問です。小さいと思います。
- 桂に体育館が出来て嬉しい。
- 桂キャンパスのクラスター間格差を解消して欲しい。(Aクラスターには、生協・たばこ自販機・カフェ・パン屋があるが、Cには皆無)
- 桂は非常に不便。大学に図書館がないのも信じがたい。交通の便は諦めたとしても。
- 桂は非常に不便。食堂しかないところはとても不幸です。(土日は食べる所がない)
- 食堂の数が少ない。(桂キャンパス)
- 桂キャンパスの研究設備は素晴らしいが、他の面においては計画の杜撰さが露わになっている部分が多い。カープ終わりの出入口や、食堂の少なさ、無駄なスペースなど見直すべき所は多いと思う。
- 桂キャンパスは設備面で満足しています。土日の食堂が少し不便ではありますが、利用者が少ないので仕方ないと思っています。
- 桂に運動施設を作るべきである。
- 桂キャンパスの食堂の数が少ない。数が増やせないならメニューを充実させて欲しい。
- 桂キャンパスの設備の充実を希望する。特に図書館が早急に必要であると思う。
- 桂にも吉田なみの規模の図書館が欲しい。
- 桂キャンパスがあまりにも不便。1冊の本を借りるために何回吉田キャンパスまで行かねばならなかったことか。本部キャンパス内でも学部ごとに図書館が分かれているのでとても不便。
- 桂キャンパスにある程度の規模(総人の図書館など)の図書館が欲しい。片道1時間かけて、必要な書類を探しに行くのは辛いです。
- 桂キャンパスに図書館の設置を希望します。
- 桂キャンパスの図書館を早く建てて欲しい。
- 桂キャンパスに図書館を。地域の住民への配慮はよく出来ているようですが、研究にとって必要な設備はまだ不十分に感じます。
- 桂キャンパス内(Cクラスター)に、24時間営業の購買部はできないものでしょうか。
- 桂にまともな図書館、書店が欲しい。
- 桂キャンパスにこそコンビニを作って欲しい。
- 桂にコンビニを!
- コンビニがあると便利。福利厚生施設がもっと欲しい。(桂)
- 大学内の施設は十分ですが、大学近郊にコンビニetc(夜遅くまでやっている)を作って欲しい。(桂)
- 土日も営業しているコンビニ等が大学内に欲しい。(桂)
- 桂キャンパスの坂が本当に不便。それだけは何とかして欲しい。コンビニ等、何か24h食料が手に入る施設が近辺に欲しい。
- 桂キャンパスの周りにコンビニが欲しい。
- 出来れば桂キャンパス内にもコンビニが欲しい。
- 桂にコンビニを作って欲しい。
- 桂キャンパスの図書館の拡充。
- 吉田の図書館で借りた本を桂で返せるようにして欲しい。又、吉田の本を桂に取り寄せたい。
- 桂キャンパスの交通の便をより改善して下さい。
- 駐車・駐輪場が狭い(桂キャンパス)。
- 桂キャンパスに屋外グラウンドを作って欲しい。
- 桂キャンパスへのアクセスが悪い。
- 桂までの交通手段の充実を願っています(費用面でも)。
- キレイでよい。暗くなると恐いので、もっと照明を増やして欲しいです。コンビニがあると便利。福利厚生施設がもっと欲しい。(桂)
- 桂の不便さをどうにかしてもらいたい。
- 桂キャンパスに自由スペースが少ない。
- 桂はキレイすぎて少し息が詰まる。
- 桂キャンパスをもっと便利にして下さい。
- 最近、京大も「たこ足大学」になりつつある。キャンパス間の連絡に時間がかかるので、オンラインで授業するなどする必要があるかもしれない。
- 一般道がキャンパス内を買っているため、通学途中で事故を起こしたことがあります。通学環境や、深夜の学校付近の安全面を改善して欲しいです。(桂キャンパス)
- 桂キャンパスの学生の研究室の大きさが、人数に関わらず、同じであることが不満である。
- 朝食を大学(桂)でとれるようにしてほしい。
- 桂キャンパスは、もう少し自然と調査のとれたものに出来なかったのか。
- スポーツジムを開放して欲しい(桂キャンパス)。一部の人間が一部の時間のみ使用できるのは非常にもったいない!
- 桂←→吉田間バスの増便。講義に合わせたスケジュールでの運行を希望。桂にSMBC以外のATM(京銀、ゆうちょ等)設置希望。
- 桂キャンパスへの交通アクセスが不便。シャトルバスの最終便を20時以降にして欲しい。
- 桂キャンパスへのバス停からのアプローチで適切な横断歩道がない。教員以下、公道を横断しているのは危険であり、みっともない。本来のキャンパス計画に入っているべきである。桂キャンパスの近くに郵便局もポストもない。一つの大学都市であり、これもマスタープランに入っているべき。
- 日曜日などの食料がない。(桂)
- Cクラスター(桂)には、飲食等ができる施設・設備が無いので、どうかして欲しいです。

- 京都大学は交通の便が悪い。京都駅から遠いし、地下鉄もないし…。桂も完璧隔離だし。
- 桂キャンパスに何度か行きましたが、研究設備に高価なものも多く、さすがだと思いました。
- 桂キャンパスはいわゆる“陸の孤島”のようで、交通の便など不便です。また、研究室が太陽の光の入らない設計になっていて、日中から人工の光の中で生活することになるため、気分が減入ります。日照の件については何とかならないでしょうか？
- 桂キャンパスへの移転をもっとスムーズにして欲しい。
- キャンパスのすみわけが不十分。各キャンパス間の行き来のバスが少ない。増やせないなら、交通費の補助制度を充実させるべき。
- 本部で3年間過ごして、今、宇治キャンパスにいるためでしょうか、京大に対する帰属意識があまり感じないです。京大のことは基本的に好きなのですが、今は全く別の大学にいるみたいで、百万遍あたりにたまに行くとき懐かしくてたまりません。
- 宇治キャンパスの農学研究科研究室に通っているが、本部の事務に行かなければできない手続きが多く非常に不便。
- 宇治キャンパスは研究所という色合いが強いせいか、大学というイメージとは少し違うと感じます。静かで研究に専念できるというメリットがある一方で、本部キャンパスを含め、周りから隔絶されている感じがするのは気のせいでしょうか…。
- 桂にコンビニを作って欲しい。
- 桂キャンパスは閑散としすぎている。全学部移転するか、吉田キャンパスで統合するかにすべき。
- 吉田キャンパスで過ごした3年間は本当に素晴らしいものでした。
- 桂駅から無料でシャトルを走らせて欲しい。もしくは、交通費を支給して下さい。自転車では通えません。
- 通学（桂キャンパスへの）するための公共交通が充実していないことが不満です。
- 連絡バスの増便をして欲しい。
- キャンパス間での大学の利便性に格差があるのはどうかと思います。
- 辺境にある施設に対するフォローが足りない。

□自転車・駐輪・学内交通

- 自転車整理のおじさん、大変なのは分かるが、もう少し言い方を考えられないものか。
- 使用されていない自転車の撤去をして欲しい。停めるところがない…。
- 吉田キャンパスは、工学系の桂移転に伴い、再編されていくと思うが、どのようにすれば自転車の流れがよくなるかなど、全体的な視野をもって計画してもらいたい。

- 自転車利用者の数を考えると、駐輪場などの設備が不十分。本部構内はもう少し四輪車に制限を設けてもよいと思う。
- 自転車の置き場が少ないのか、マナーが悪いです。車椅子や骨折されている方が通る道を確実に確保できるようにしてあげてほしい。
- 再生研、ウイルス研の自転車置き場の改善を早急にして欲しい。関係ない学部生が停めているので、本来使用できるはずの人が使用出来にくい環境になっている。
- 自転車置き場を整備する方が良いと思われます。
- 屋根のある自転車置き場を増設していただきたい。
- 自転車の利用率が高い割には、構内の通路が狭いため、歩行者にとっては不都合が生じる。附属図書館周辺の駐輪マナーが悪化している。
- 北部キャンパスには“屋根のある自転車駐輪場”がない。
- メディアセンターや吉田ショップの周囲、ルネの周囲の自転車置き場を増やして欲しい。
- 雨のあたらない自転車置き場を増やしていただけるとありがたいです。
- 全体的に自転車を駐輪するスペースが小さいように思います。
- 自転車が散乱しているので駐輪スペースを整理して欲しい。
- 自転車の事故を防ぐため、一方通行の道を作って欲しい。
- 桂キャンパスは吉田キャンパスに比べてやはりまだまだ環境が未整備で、不便を感じることが多い。特に食堂の拡充、図書館、グラウンドの設置、駐輪場の整備を望む。
- 駐輪スペースがもう少し欲しい。
- 駐輪場所の確保。
- 屋根がついた駐輪場が少ないと思います（北部）。
- 屋根付きの駐輪場を増やして欲しい。
- 駐車・駐輪場が狭い（桂キャンパス）。
- 駐輪場以外は特に必要と思うものは個人的にはないです。
- 駐輪場が不足していると思います。
- もう少し駐輪場を多くして欲しいです。例えば、電車の駅の近くに京大生専用の駐輪場を設置する等していただければ有難いです。
- 南西病棟～再生研周辺の駐輪スペースを増やして欲しいです。本部方面の学部生さん方もお使いになるようです。
- 駐輪場に屋根をつけて欲しい。雨が降ると困る。
- 出来れば駅近く（出町柳・丸太町）に駐輪スペースを設けてほしい。
- 充実しているが、その分、駐輪スペースが少ない（吉田）。
- 駐輪スペースを明確に決めて欲しいです。あちこちと無法地帯すぎる気が…。
- キャンパス全体として、やはり狭く、構内の交通に支障をきたす箇所が見受けられるので、可能な限りの改善を望んでいる。

- 吉田中央キャンパスと南部キャンパスの間の道をわたる時、車が多く通るので危険に感じることが多くあった。是非、交通整理の人を配備して欲しい。
- 桂キャンパスへのバス停からのアプローチで適切な横断歩道がない。教員以下、公道を横断しているのは危険であり、みっともない。
- 一般道がキャンパス内を貫いているため、通学途中で事故を起こしたことがあります。通学環境や、深夜の学校付近の安全面を改善して欲しいです。(桂キャンパス)
- 大学構内の車のマナーが悪い。できれば禁止にすべきだと思う。
- バイク進入禁止という規則が全く守れていない。
- 自転車マナーの改善は大学をあげてすべきだ。
- 自転車マナーが悪い。歩行者がよけることを前提とした自転車の歩行が目立つ。当たられたりすることもあり、非常に危険である。講習などをして許可を与え、危険な走行をしたらそれを取り上げるなどすべき。
- 自転車が悪い。
- 車で通学を許可して欲しい。
- キャンパス。特に吉田キャンパスの管理レベルが低い。大勢の警備員がいながら、十分な指示が与えられていないように思う。例えば、立命館の衣笠キャンパスは警備員1人でキャンパス内のバイク走行はゼロである。要は工夫である。現在の状態で事故が起きた場合、大学側の管理責任が間違いなく問われるだろう。

□教務窓口・連絡掲示

- 事務室開放の時間を長くして欲しい。
- 事務の対応が悪いと感じることが多々ある。何時でも怒りながら対応するのはやめて欲しい。
- 施設、設備自体については、特に要望する点はありません。しかし、事務室などの受付時間には多少不満があります。もう少し遅くまで受付をしていただくと、多くの学生に喜ばれると思われます。
- 事務の人の態度が悪い。別にお客様として扱って欲しいとまでは思わないが、やる気なく他人を見下した様に应对されることが多いことに不満。これは多くの学生が思っている。(法)
- 学部の事務の態度が悪い。
- 経済学部の事務対応をもっと丁寧にして欲しい。
- 教員の方は質問要望などに親切に対応して下さいますが、事務室教務掛などでは(学部を問わず)不親切な対応をされます。わざわざ感じの悪い態度をとって何か利益があるのでしょうか。
- 大学全般についてではなく、文学部についてですが、教務からの連絡や休講情報をインターネットで確認できるようにして欲しい。学校に行かないとそういった情報が得れないという状況はおかしいと思う。
- 医学部の教務の愛想の無さは20年前のお役所レベル。サービス業並に笑えとは言わないが、相手を不愉快にさせない程度には、改善して欲しい。
- 学生センターの職員の対応がとても悪い人が多い。
- 教務の対応をきちんとして欲しい。
- 大学院には20代後半～40代の学生が結構いるが、大学院掛や生協書店の職員の中で勝手に見た目で判断して年下に対する口調で対応する者がいる。礼儀正しく対応しましょう。
- 学部の専門の掲示板をネットでも公開して欲しい。クラスでも出来ているのに肝心の学部のHPが充実していないのは如何なものかと思う。学外向けの案内に力を入れてるのはいいが、学内向けの連絡も見直して欲しい。
- 掲示しかりしないというのがいい加減。皆、インターネット機器を持っているし、メディアセンターもあるのだから、メール配信すべき、併用すべき遠方の人が見に来れないだろうし。
- 掲示板の電子化など、分かりやすい情報の掲示を望む。
- 掲示板の内容はインターネット上で確認できる様にならないだろうか。
- 学部の掲示もKULASISのようにパソコンで見れるようにしてほしい(工学部では改善されるらしいが)。
- 昼休みが学生と同じだと、授業がつまっていたらいつ行けばいいのかと思います。薬学部では割と昼休みでも対応してくれるのでありがたいですが…。
- 事務が掲示する情報は全てホームページでも閲覧・検索出来るようにして欲しいです。いちいち定期的に見に行くのは面倒だし、多くはWordファイルなので、それほど難しくはないはずですが。
- 宇治キャンパスの農学研究科研究室に通っているが、本部の事務に行かなければできない手続きが多く非常に不便。
- (全員じゃないけど)職員の態度が悪すぎると思うので改善して欲しい。用事があっても事務に行くのが嫌になる。学生センター(奨学金)が一番ひどかった…。
- 事務職員の増員と研究費(科研費の間接経費)の用途を分かりやすく公開して欲しい。独法化以降、研究、教育活動が阻害されるほど、研究室への事務処理負担が増えているので、各研究室への常勤スタッフの配置、事務職員から派遣会社を除くことを要望します。
- 文学部事務窓口は、忙しくて大変とは思いますが、あまりにもつつけんどんで窓口立つのが怖い。面倒なのは分かるが、真剣に対応するのが難しいならば、窓口用に人を増やせないだろうか。
- 事務の方の態度が悪いという話をよく聞きます。私は文学部なのですが、イライラした口調で、対応するなど目にあまる方もいます。他の学部でも似たようなことがあるそうです。接客業ではないにせよ、最低限の思いやりは持っていただきたいです。

- 京大は自由で放任な感じがいいところだけど、大事な連絡などは、掲示板に貼るだけでなく、メールやパソコンでも見られるようになるのととても有難い。事務の人の対応が怖いことがある。
- 学部からの連絡も全学共通科目と同じ流れで流して欲しいと思います。
- 学部の連絡事項を掲示板に貼るだけでなく、メールでも流して欲しい。
- 保健学科の教務の対応が悪い。テスト日程を決めるのが遅い上、一般教養と専門のテストが重なっていたり、実習中の定期発行証明書が3度も遅れて定期が買えず、交通費が大分かかってしまったり(3度目に至っては、生徒が問い合わせるまで忘れていた様子)した。怠慢にも程がある。
- 教務掛の職員の対応が非常に悪い(医学部)。改善して欲しい。
- 教務掛の対応が悪い(医学研究科教務)。4月にハラスメントを受けた。そのことについて教員に相談したが、その後何のレスポンスもない。私としては、二度と利用したくない程、腹が立っている。昼休みにも対応すべきだ。学生は昼休みしか時間が空いていないこともある。窓口だけ開けていても、きちんと対応できないのであれば意味がない。
- 色々な連絡事項が掲示板に貼り出されるだけでなく、メールやリストなどで流してもらえると有難いです。
- 保健学科の事務の人の態度や職務内容に不満があります。旧医短のスタッフがそのまま継続して事務を行っているようですが、あまりにも怠慢と言えるような態度だと思えます。きちんと京都大学のスタッフを派遣して下さい。
- 事務的な連絡を教務の掲示板だけでなく、インターネットにも載せて欲しい。
- 休講などをネットで検索できるようにしてほしいです。
- 学生への連絡には改善が必要であると思う。休講があるなら、ネット上で告知すべきだ。
- パソコンに頼りすぎていると思う。学務系の掲示板にTKCを更新した旨を載せていただきたい。
- 掲示しからないというのがいい加減。皆、インターネット機器を持っているし、メディアセンターもあるのだから、メール配信するべき、併用すべき遠方の人が見に来れないだろうし。
- 履修科目の登録、確認や、休講・補講情報等を一括して行う事のできるWEBシステムを導入して欲しい。毎度の窓口での混雑、直接出向がなくてはならない煩わしさにはいい加減うんざりしている。
- KULASISのようなPC・携帯でアクセスしやすいサイトが各学部単位で広く、深くなると、とても便利と感ずります。
- シラバスの内容や各種セミナーのお知らせをウェブから一括閲覧出来るようなシステムの構築を願う。
- クラスは全学共通科目だけでなく、学部でも使えるようになるとう便利。休講情報は気づきにくいこともあるので。

- 全学共通科目のように、各学部科目も休講やお知らせをパソコンやメールで見られるようになったら良いのと思う。外国語の予備登録を他の学部の必修科目などの時間割クラスはととても便利です。

□授業料・奨学金

- もう少し学費を安くしてほしい。
- 大学として院生への金銭面での支援がもっと(奨学金etc)あればいい。
- 奨学金がもっと欲しい。
- 授業料が上がるのは仕方がないことだと個人的には思っている。
- 博士課程の学生の授業料免除(or減額)。
- 博士課程は毎日講義を受けたり、それほど基本的な教育を受けるわけではないと思うので、学費を少なめか、出来たら無料にして欲しいと思う。
- 奨学金は、博士課程の場合、3年で打ち切られてしまう。研究対象次第では、3年間の結果では、学位論文として認められないことは珍しいことではありません。標準年限を超えて在学する者についても、奨学金等の支援が受けられるようにご配慮下さいませんか。
- 奨学金や授業料など、もう少し大々的に情報を挙げて欲しい。授業や試験に追われて説明会や資料をもらい忘れたことがある。自己責任ですが…。
- やはり、編入生等、独立生計扱いにはならないが、事実上、独立して生計を立てざるを得ない世代(年齢)のものは、更なる勉学を積みたいがために私財を投げ打って学んでいる。そういった隙間的存在への経済的配慮があると有難いのですが…。
- 学費が高すぎる。前の世代のツケを我々に回さないで欲しい。
- 私立の大学でもあるような成績優秀者の授業料を軽減するなどの制度があればと思いました。現在ある授業料免除の制度は一部の学生が対象で申請も煩雑なので利用しにくい。家庭の事情で授業料を払えない人を支援するのも大切ですが、自分で奨学金を借りて払っている人、勉学に励んでいる人への助けもあってよいのではないのでしょうか。
- とにかく毎日お金のことが心配である。親の収入が少ないという理由で奨学金を得て贅沢な生活をしている学生をうらめしく思ってしまう。東大は博士課程の授業料が無料になるかもしれないらしいが、京大ではその予定はないのだろうか、ということがすごく気になる。
- 授業料が高すぎます。もっと安くして下さい。
- 大学院に進学した者の中には、年金や保険も支払えない学生や結婚を考える学生が少なくないと思う。前者については、免除とはならないまでも納入猶予期間の延長を、後者については授業料免除等を充実していただけると助かる。

- 海外の大学院のように、授業料をタダあるいはタダ同然にして欲しい。
- 経済的に苦しい学生がいるので、授業料免除やTA、RA等の制度のさらなる充実を期待します。
- もっと大学院への進学、ならびに大学院からの卒業の条件を厳しくし、その代わりに学生への経済的サポートを充実させて欲しいです。大きな寮を作る、奨学金を与える、企業などから寄付を募って授業料をタダにするなど、出来ることは多いと思います。
- 授業料が高い。
- 博士課程の入学条件を厳しくして授業料を下げてください。
- 博士課程を3年で卒業できなければ、奨学金も打ち切りになり、生活が困難になるという不安がいつも頭から離れません。
- 大学院は、余裕のある人しか行けないと考える人が、親の世代に多いため、親もあまり支援してくれない人が多いと思うので、学費や生活面での援助がもっとあれば良いと思う。
- 授業料は、今後どこまで上がるのか？すでに文系なら私学とあまり変わらない。それでは国立の意味がない。
- とにかくアルバイトする時間もないのに、お金を使う機会が多すぎる。もう少し院生の生活を楽にして欲しい。
- 大学の生活とは、個人の問題であると思う。いかに自分でやるかと。ただ、奨学金が通らなかつた時は、本当に辛かった。自分でやりたいことも出来ないのに、ちょっとした制度の問題で通らないのはしんどい。結局、追加採用していただいたが、まだまだ困っている学生は多いと思う。
- 研究の環境はほぼ万全だと思いますが、福利厚生面での支出が抑えられている気がします。学寮の建設等により、より学生が経済問題に足を引っ張られないような施策を行って欲しいと思います。授業料の免除枠を出来れば拡充していただきたく思っております。
- 修士課程・博士課程は授業がほとんどないので、もう少し授業料を安くして欲しい。
- 日々時間に追われておりますが、充実しております。ただ、金銭面の負担がもっと軽くなれば良いなと思います。
- 本校独自の奨学金、授業料免除の枠を設置、拡大して欲しい。社会人を辞めて、入学する人間は、なかなか学費の捻出、教科書代の捻出に苦労している。多様な人材を確保するには、成績や生活環境に応じた学費措置を実施するなど、ブランドイメージに頼らない経営戦略が今後必要なのではないだろうか？
- 全般として、特に問題はないが、社会人、入学者の受け入れ体制は課題が残っていると思う。例)保護者は実質的な役割をしていないが、形式上、申請書などへの記入が必要となる。数々の奨学金制度に年齢制限があることから、別途支援措置を検討願いたい。
- 大学院生の就労時間と金銭的な援助に関してもう少し考えていただきたい。
- 学費が高い。
- 奨学金の説明会が吉田キャンパスでしか行われれないのが、桂キャンパスの学生にとっては不便です。
- 学費が高い。建物を増設、建て替えをするくらいなら、学費を下げるべし。
- 我々のような生命科学に従事する大学院生にとって、日々の実験に追われ、バイトをする時間がありません。奨学金を取れば良いと思われませんが、借金であることには変わりません。我々が出していく実験データは大学にとって財産になるものと考えられます。もう少し生命科学系の大学院生に経済的なサポートを下さいますようお願い致します。